

- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (发型) ポニーテール。  
 \*<sup>カニム・シルバ</sup><sub>ク</sub> (首のうしろにVの字形に垂れている髪)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> 燃えさし。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (牛や水牛の尾の毛のない部分)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> →<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup> 彗星。ほうき星。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (犬が) 尾を巻いて逃げる。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> →<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup> =<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> 行列の後につく。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> 尾を振る。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> →<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup> =<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> (→<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup> 行列の後につく。行列する。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> 尾鱗。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> 尾の毛。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> 尾を垂れる (←牛などが疲れて)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> →<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup> 犬が襲いかかる時に尾をあげる。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> 反発する。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (牛などの) 尾の毛。
- カニム [kontul] (名) (漁具) (鉛, やすの類)。
- カニム・シル [kontu:t ɔ:oŋ] (名) ①(首の後ろの髪の生えぎわの尾形の髪)。②(首の後ろの髪の生えぎわ)。③尾てい骨。④(鶏の尻の先端)。尾てい骨部。
- カニム [kontu:ot] (ok. karpdvāt) (名) ①(銅, 骨, 象牙などで作った穴のあいた輪) (←牛な
- どの鼻綱と首綱とを連結するのに使う)。②(刀の柄の先端のこぶ)。③(柱のてっぺんの飾り)。④(小さい鈴)。⑤(木) トウダイグサ科, Cicca acida (S) (←実は酸っぱくて食べられる)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (木) (S).
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> =<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> (植) Molva tomentosa? (H).
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> =<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> =<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (植) カンラン科, Garuga pinnata (S).
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (木) トウダイグサ科コミカンソウ属アンマロク, Phyllanthus emblica (S), Cicca racemosa (H). (←実は酸っぱくて苦い。食用および薬用)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (植) トウダイグサ科コミカンソウ属アメダマノキ, Phyllanthus acidus (S), Cicca nodiflora (H).
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> ろくろ鉋で削る。
- カニム [kontu:l] (<カニム) (名) 小さい腫れ (←蚊が刺した後のような。中に膿はない)。ぶつぶつ (←蚊などに刺された)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> (一面にできた赤いぶつぶつ)。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> →<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup> 体中に発疹する。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub> 乳頭腫。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> 蚊に食われた小さい腫れ。
- \*<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> →<sup>カニム・ス</sup><sub>ク</sub>・<sup>カニム</sup>・<sup>カニム</sup> ヘルベス。

\*カニ<sub>ク</sub>シ<sub>ス</sub> かすり傷。

\*カニ<sub>ク</sub>シ<sub>ス</sub> 発疹がでる。

カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub> [konte:ñ] (形) (cf. カニシ<sub>ク</sub>)。揃っていない。出っ張った(歯)。(名)(呪)ブタ。カニシ<sub>ク</sub>ン 出っ歯。

カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub> [konte:ñ] (エ)→カニシ<sub>ク</sub>ン.カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub> (俗)=カニシ<sub>ク</sub>ン.カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub>。

カニシ<sub>ク</sub><sub>テ</sub> [konte:c] (<カニシ<sub>ク</sub>)=カニシ<sub>ク</sub> (古)。(名)細かく碎けたもの。(タバコの)灰。

\*カニシ<sub>ク</sub>ン くだらぬ/些細なこと。

\*カニシ<sub>ク</sub>ン.マム ①(毛虫) (←触るとかゆくなる)。②(草)イラクサ科, Fleurya interrupta. など, カニシ<sub>ク</sub>。 (←触るとかゆくなる)。

\*カニシ<sub>ク</sub>ン.マム.ヌリ<sub>ク</sub> クラゲ。

カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub> [konte:n] (エ)→カニシ<sub>ク</sub>ン.カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub>.

カニシ<sub>ク</sub><sub>ル</sub> [konte:l] (ok. kandel:地名) (名)ござ。むしろ。(←カニ, カニ<sub>ク</sub>, カニシ<sub>ク</sub>, カニ<sub>ク</sub><sub>ン</sub>, カニシ<sub>ク</sub><sub>ン</sub>などて作るが, カニのものが最も多い)。カニ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> ござの縁を縫う/とめる。カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> ござを編む。カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> ござをまく。

\*カニシ<sub>ク</sub>ル.カニ カニで作ったござ。

\*カニシ<sub>ク</sub>ル.カニシ<sub>ク</sub> (模様のあるござ)。

\*カニシ<sub>ク</sub>ル.カニシ<sub>ク</sub> (竹帯を編んだむしろ)。

\*カニシ<sub>ク</sub>ル.カニシ<sub>ク</sub> ござの模様。

\*カニ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> (ほこりを払うため)むしろ/ござを叩く。

\*カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> →カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> ①(常に主人の足もとに侍っている使用人)。②奴隸から生れた子(←やはり奴隸の身分となる)。

\*カニ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> ①ござをまいて片付ける。②(曲)。

\*カニシ<sub>ク</sub><sub>ト</sub> [konte:t] (主人と奴隸との間に生れた子)。

カニシ<sub>ク</sub><sub>ル</sub> [konte:k] =カニシ<sub>ク</sub>。(動)(手/足をわざと)広げる。(股を)開く。(形)(牛の角が)はなれてまっすぐ立っている。

カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> 股を開いて座る。

\*カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> (植)(カニシ<sub>ク</sub>) (←下剤にする)。

カニシ<sub>ク</sub><sub>ル</sub> [konte:k] (名)ろくろ(←足で踏むのも手で回すのも)。

カニシ<sub>ク</sub><sub>ル</sub> [konte:ñ] (cf. t. カニシ<sub>ク</sub>:krat'õg) (名)(バナナの葉を切り, 折って細い竹ピンでとめて作った容器) (←タバコやキンマを入れる)。カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> 串でカニシ<sub>ク</sub>の端を綴じる。

\*カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> (悪霊) (←人にのりうつる)。とても強力)。

\*カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> →カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> 自分よりも身分の高い家の娘に求婚する。

\*カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> (金属製のボウル)。

\*カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> =カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub> カニシ<sub>ク</sub>。 (→見出し語カニシ<sub>ク</sub>の中)。

カニシ<sub>ク</sub>.ル [konte:m] (名)①トンボ。②(俗)ヘリコプター。

カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub> [konte:m mi:ñ] (cf. カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>)

(名)=カニシ<sub>ク</sub>.カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>= (カニシ<sub>ク</sub>).カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>=カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>=カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>.ヌ<sub>ク</sub> (曲) (←葬式や火葬の時に演奏。カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>, カニシ<sub>ク</sub>.ミ<sub>ク</sub>,

〔スリフ・シテ、シニ・ムシ、ブスジ・ギリガ、があり、シニ・ミシをひとり、スリフ・シテをひとり、あと全てをひとりの計3人で演奏する〕。

カニガニ [kɔntraŋ] (エ) = カニガニ (古)。 (植物)。

※カニガニ・オドロ [カニガニ] (植) キク科ヒヨドリバナ属ヒマワリヒヨドリ, Eupatorium odoratum (S)。

※カニガニ・タマ・ヌ [カニガニ] (草) アオイ科ホソバキンゴジカ, Sida acuta (H) (←皮はロープを、茎と葉はほうきを作る)。

※カニガニ・グリ [カニガニ] (水草) タデ科タデ属, Polygonum glabrum (H) (←食べられる)。

カニガニ [kɔntraŋ riə] (cf. カニガニ -) (形) = カニガニ・カニガニ。 ①ためらう。 ②(焦慮/苦しみ/欲望で)我慢できずじっとしていられない。 いらいらする。

カニガニ [kɔntrəŋ] (名) (木) (←小さい。 薬用になる)。

※カニガニ・カニガニ = カニガニ・カニガニ。 ①片足で跳ぶ。 ②石けり (←遊び)。

※カニガニ・カニガニ = カニガニ・カニガニ。

カニガニ [kɔntrə:m] (< カニガニ) (形) ①臆病な (←みっともない程度にまで)。 いつもびくびくしている。 ②怖くて小さくなっている (←偉い人のそばを通る時など)。 ③みっともなくやせている。

※カニガニ・カニガニ 老いぼれた。

カニガニ [kɔntrə:l] (cf. カニガニ) (形) みっともなく大変太った。 でぶの。 ずんぐりした。

カニガニ・カニガニ とてもでぶな。

カニガニ [kɔntri:a] (名) = カニガニ (植)

マメ科ネムノキ属, Albizia lebekkoides (S)。

カニガニ [kɔntri:a] (cf. カニガニ)。 = カニガニ。

カニガニ [kɔntri:a] (形) ①偉そうな。 かっぷくのいい。 傲然と (立っている)。 ②枝が沢山茂っていて (大きく見える木)。 ばらばらでしかも数の多い (髪)。

※カニガニ [カニガニ] ①(山岳民族の部族長)。 ②ゲリラ隊長。

カニガニ [kɔntrəp] (動) ぱっと飛びつく (←覆いかぶさるように)。

カニガニ [kɔntruh] (< カニガニ < カニガニ・ヌル) = カニガニ。 (形) けちで感じの悪い。 皆に嫌われている。

カニガニ [kɔntruh] = カニガニ。

カニガニ [kɔntröp] (< カニガニ) (形) ①小さい木が沢山茂った (森) (←悪い感じ。 そろっていない)。 ②ぼろぼろで傾いた (家。 小屋)。 今にも倒れそうな。

カニガニ [kɔntru'ok] (< カニガニ) (形) = カニガニ。 ぼろの。 がたびしする。 がたがたの (家。 車)。

カニガニ [kɔntru'op] = カニガニ。

カニガニ [kɔntri:aŋ] (< カニガニ) (形) (まだとかしてなくてアフロスタイルのような) 突立ってもじゃもじゃの。 乱れた。 (←髪)。

※カニガニ・カニガニ とても傲慢/生意気な。

カニガニ [kɔntrə:t] (形) ①低くて可愛い。 ②地面に低く這うように生えている (草)。

カニガニ [kɔntrə:k] (名) (木) ミカン科ワンピ属ワンピ, Clausena lansium (S)。 ミカン

科, *Limonia monophylla* (H). (←葉を香)

り付けとして使う).

※កេវ្នាក់ដីរ =កេវ្នាក់សុខិត្តធម្ម. ミカン

科ワンビ属スメルノキ, *Clausena excavata*?  
(S).

※កេវ្នាក់សុខិត្តធម្ម =កេវ្នាក់ដីរ (S).

កេន្លំ [kəntrōm] (名) (蓋付き籠).

កេន្រាំ [kəntrōam] (エ) → ៩. កេន្រាំ.

កេន្យ [kənt'vः] (名) (魚) キノボリウオ科ア  
ナバス属, *Trichogaster pectoralis*, បាសាគិក.

※នឹងត.កេន្យ កេន្យの干物.

※លាប.កេន្យ → ឃ្លាប.លាប.កេន្យ 砂利混じりの  
砂.

កេនា [kənt'i:a] (ok. *kandhā*: 人名) (形) 背  
が低くて横に大きい。ずんぐりした。

※កេនា.ឬ (ឬ = ឬ) とてもកេនា.

កេនាវ [kənt'i:əŋ] (cf. គុបាវ) (形) 大  
きく広げた(脚).

កេនាត [kənt'a:t] (<ឬត) (形) (蔑) でぶ  
の。 ឬត.កេនាត ぶくぶく太った。でぶの。

កេនាយ [kənt'i:əi] (名) スッポン科スッポン,  
*Trionyx cartilagineus*, ទោពាប. *Trionyx*  
ornatus (H).

កេនិន.កេនិង [kənt'i:n̄ kənt'e:n̄] (形) 広げ  
た(脚). がにまたの。足を広げて(寝る。歩  
く。座る). (←いやらしい感じ).

កេនិង [kənt'i:n̄] (形) 大きい(←尻). 横に大  
きく張った.

※កេនិង.ឬ (ឬ = ឬ) とてもកេនិង.

កេនិប [kənt'wp] (形) =កេនិប=កេនិប. 凹んだ。  
落ち込んだ。陥没した。 ប្រជាពិន្ទុ.កេនិប 天井

を向いた鼻(←チンのような鼻).

កេនិប [kənt'w:p] =កេនិប.

កេនិក [kənt'uk] =កេនិក.

កេនិច [kənt'uc] (<ឬច) (形) 固太りで可愛  
い。 ឬចស្ថ.កេនិច よく太ってかわいい。  
ぼちゃぼちゃした.

កេនិល [kənt'vl] (形) (色も白くて) 太って可  
愛い。 丸々と太った。 ぼちゃぼちゃの。 (←子  
供に使うことが多い). ឬត.កេនិល 太っ  
た(←そして色も白くて可愛い).

※សាប.កេនិល 太って可愛い.

កេនិក [kənt'u:k] (形) =កេនិក. 固太りに太っ  
ている。肉付きのいい.

កេនិក [kənt'e:k] =កេនិក. (動) (手／足を  
わざと) 広げる。(股を) 開く。(形)(牛の  
角が) はなれてまっすぐ立っている.

អូរ.កេនិក.រដិន 股を広げて座る.

※មិត.កេនិក 関心を失った。気が離れた.

※យេះ.កេនិក =យេះ.កេនិក. (អូរ)遊びの  
段階) (←អូរを足の甲の上において歩いて  
行き, 立ててあるអូរにぶつけて倒す).

កេនិន [kənt'e:n̄] (形) 広く広げた(手.脚).

※យេះ.កេនិន =យេះ.កេនិក. (អូរ)遊びの  
段階) (←អូរを足の甲の上において歩いて  
行き, 立ててあるអូរにぶつけて倒す).

កេន.តម្លៃ [kənt'om t'e:t] (cf. t.

ក្រាមុនិម្ភ: krah'mum t'e:t <ឬណ.ឬស? ).  
=ឬណ.ឬស.

កេនិង [kənt'e:n̄ cə:n̄] (動) (股を) 広げて  
(寝る。歩く。座る) (←いやらしい感じ).

※កេនិង.រដិន 股を広げる。 អូរ.កេនិង.

「ជិច 股を広げて座る。

※កន្លឹម.កន្លាំង 広げた(脚)。がにまたの。足を広げて(寝る。歩く。座る)。(←いやらしい感じ)。

កញ្ញា [kanya:] (s. kanyā) (名)乙女。

កន្លឹម [kənlə:ŋ] (cf. កន្លឹម, រលូន) (ok. kanloñ 「故～」) (動) ①(時が)経過する。②またぐ。越える。③(規則を)破る。

កាល.កន្លឹម.ទេវ.ពីម 時が経過した。

ពេរ.ឆ្នាំ.កន្លឹម.ខែ 2年たってから。

※កន្លឹម.ទុប (往時の法律で、埋葬した配偶者を洗骨し骨壺に納める前に再婚すること) (←罰金が科せられた)。

△ទាស់.កន្លឹម.ទុប កន្លឹម.ទុបを犯した罪。

※កន្លឹម.ថ្វិក.កវិយា →ប្រព្រឹត្ត.កន្លឹម.ថ្វិក.  
កវិយា (夫が)浮氣する。

※កន្លឹម.ថ្មី 違反する。

※កន្លឹម.ទេវ ①時が経つ／過ぎる／過ぎ去る。

②先(月。週)。去(年)。 ទៀត.កន្លឹម.ទេវ  
先月。 ពេរ.ឆ្នាំ.កន្លឹម.ទេវ 2年前。

ទីបាន.ការពិ.កន្លឹម.ទេវ.ជាត.ជុំជាប 月日が経って。

※កន្លឹម.ខែ →ខែ.កន្លឹម.ខែ (ツタ)。

※កន្លឹម.អារុណា =ជាថ្ន.អារុណា。暁になる。

※គ្រាស់.កន្លឹម →មនុស្ស.ពិបាល.ពិបាល.ពិបាល.  
(胎内にいた／生まれれる時に日食や月食があったため、生まれつきの知恵遅れの人) (←これを避けるために、食がある時には妊娠中の女性はキンマの石灰入れを腹の上に乗せ、食に胎児でなく石灰入れの上を通って行かせる)。

※ជិច.កន្លឹម またいで歩く。

※ជិច.កន្លឹម =ប្រព្រឹត្ត.កន្លឹម (書)。(規則に)違反する。(法律を)犯す。

※ប្រព្រឹត្ត.កន្លឹម (書) =ឈើ.កន្លឹម。

※ឈើ.កន្លឹម 飛び越す。

※អាតិ.កន្លឹម →អុណាតិ.ជាត.អាតិ.កន្លឹម.  
ឃាន.សិទ្ធិ.ទីក.ជុំ.ក.ពិបាល.អុណាតិ 口は災の元。

※កន្លឹម [kənləŋ] (名) ①(ハチ)ミツバチ科マルハナバチ, クマバチ, ベニバチ。②=ឈើ.កន្លឹម。③(比) (ハチが蜜を求めて花を探し回るように、次々に女を求め歩く若い男)。④(虫)タガメ(?)。

※កូលាល.កន្លឹម =ឈើ.ដែ=ឈើ.ថ្មី. (木)カキノキ科, Maba castanea (S.)。

※ជំ.កន្លឹម (ニワトリの脚のうろこやラックカイガラムシの殻が)隙間なく取り囲んでいる。

※ព្រោល.កន្លឹម =កន្លឹម。 (魚)。

※អាចបាល.កន្លឹម ①(錐で穴をあけた時の木屑)。②(乾いたバナナの葉など、大砲に火薬を詰めたときに火薬を固めるために詰める物)。

※កន្លាលំ [kənləŋ] (形) ~したくてたまらない。

※កន្លឹម.កន្លាលំ いろいろ憂える。

※កន្លាត [kənlə:t] (名)ゴキブリ科ゴキブリ, Ectobia germanica, Bratta orientalis. など。(形)薄茶色の。

※កន្លាត.សុំជាប (虫) (←ゴキブリに似いて羽があり飛ぶ)。

※កន្លាស់ [kənlah] (<កាស់) (名) ①ピン(←安全ピンのような形の)。(留める/刺すための。ブローチの)ピン。(車輪が車軸から外れ

ないように車軸にさしておくる) ピン。(竹を削って作った留めるための) 針。②門。ラッチ。③(葉を編んだもので、屋根や壁として使う)。

ກ່າສົ່ວ.ກ່າຮ້າສົ່ວ.ເຟຳມຍ.ກ່າສົ່ວ 串でກ່າຮ້າສົ່ວ の端を綴じる。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າ ປຣອັບ.

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າໄລ.ເຝູ້ງ.ກຣກກົດ ベルトのバックルの止め金。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກຣກກົດ ネクタイピン。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກຣກກົດ ベルトのバックルの止め金。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ມີສ ພຶບຕ.

\*ມີຫຼັກ.ກ່າສົ່ວ (ヒル) (←小さい)。

\*ທີ່ນ.ກ່າສົ່ວ = ເຖິງ.ກ່າສົ່ວ.

\*ເຖິງ.ກ່າສົ່ວ = ທີ່ນ.ກ່າສົ່ວ. ピンで留める。

ກ່າໂກ [kənlok] (エ) → ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າໂກ.

ກ່າໂລ [kənloh] (<়ঃঃ) (名) (牛や水牛の鼻に通す/通した紐)。

ກ່າຮ້າສົ່ວ [kənlæet] = ກ່າຮ້າສົ່ວ (俗)。 (名) 喉ひこ。口蓋垂。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຜົກ (ツタ)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ບີ (ບີのリードの付け根)。

\*ມັບ.ກ່າຮ້າສົ່ວ → ອືມຍາມ.ມັບ.ກ່າຮ້າສົ່ວ どもる。

ກ່າຮ້າສົ່ວ [kənlisat] (名) ①隅っこ。(物と物との)間。(鉛筆が落ちたりする)隙間。(← ກ່າໂລよりもっと狭く小さい)。②(関節の曲がる部分の内側)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າໂກ 隅っこ。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າຮ້າສົ່ວ = ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າຮ້າສົ່ວ. 隅っこ。目の届かぬ所。 [ໃບ.ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າຮ້າສົ່ວ] 隅から隅まで(知り尽くしている)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າຮ້າສົ່ວ = ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າຮ້າສົ່ວ.

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ໄຟຟ ①指の股。②(肘の内側) (← 静脈注射をする所)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຕົກເປົກ (耳たぶと首との間)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຕົກ = ເກົ່າສ.ຕົກ. (開いたドアと壁との間の隙間)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຕົກ (やや下品) 女性器。

ກ່າຮ້າສົ່ວ [kənlæ:ŋ] (形) 悲しみ/悩み/心配/憂いのある。愁苦に憔悴した。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກ່າໂລ いろいろ憂える。

\*ມີ.ກ່າຮ້າສົ່ວ 長く悲しく泣く。

ກ່າຮ້າສົ່ວ [kənlæŋ] (名) ① (ok. kanlen?)。

場所 (←より狭い範囲をさす)。所。現場。  
②位置。③場所(をとる)。④~店。⑤~か所。~区画 (←土地)。 ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຄາຕ ປの所。 ກ່າຮ້າສົ່ວ.ເຟຳລະ.ມະຕິກ.ເຮາະ.ເກີດ. ລົງຈີ ອັນດີ 遺産の生じる/発する場所。

ກ່າຮ້າສົ່ວ.ເຟຳລະ.ມະຕິ.ສະຫຼືສູຂ ສafety 安全な場所。

ຜົນ.ກ່າຮ້າສົ່ວ.ເຮົາ.ເຕ.ສັນຍ ୟ席を譲る。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ກຳເປ.ຜົນ = ກຳເປ.ຜົນ. 曲がり角。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ອຸນາ (仕事の) 区切りの所。 ແລ້ວ.

ຜົນ.ກ່າຮ້າສົ່ວ.ອຸນາ 仕事の区切りがつく/の

よいところまでです。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ອຸນາ → ຜົກ.ກ່າຮ້າສົ່ວ.ອຸນາ 置き間違える。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຜົກ 駐車場。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຜົກ.ສົ່ງກາມ ごみ捨て場。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ຜົນ.ມີ = ຊື່ລາສົ່ວ.ຜົນ. (ゾウの両肩の合わさるところ)。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ດຳ 待合室。

\*ກ່າຮ້າສົ່ວ.ແຫຼ.ຜົນ = ສົ່ງລະ.ແຫຼ.ຜົນ. 橫断

- 歩道。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပွဲ၊ ပေါ်၊ ပေါ် 踏み切り。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပေါ်၊ အန် 近所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပြခါ 避難所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မာရ်၊ စွဲ 保管所、貯蔵所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ အောင် 元の場所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပေါ် 寝場所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ များ どこ(←စံ၊ များより狭い地域／範囲をさす)。  
 ※ကြိုးခန်း၊ များ၊ မြှုပ် あるひとつ／任意の場所。  
 どこかある場所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ခြံ၊ မြှုပ် →ခြံ၊ ခြံ၊ မြှုပ်。  
 ဆီယာပါး၊ မာပါး၊ ဒီဇိုင်း၊ ကြိုးခန်း၊ ခြံ၊ မြှုပ် 不動  
 産。  
 ※ကြိုးခန်း၊ လုပ် 展示場。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ခြံ၊ ခြံ 日のあたる場所。日なた。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြှုပ် =ခြံ၊ မြှုပ်。丘。  
 ※ကြိုးခန်း၊ စွဲဆောင် 観光地。名所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ စွဲတော် 空いている場所。空き部屋／  
 ポジション。空席。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပွဲ 製造元。  
 ※ကြိုးခန်း၊ အိုး၊ ကား ①事務所。仕事場。②勤務  
 先。  
 ※ကြိုးခန်း၊ အေး ここ。 အေး၊ ကြိုးခန်း၊ အေး၊ မြှုပ်。  
 မြှုပ် ずっとここにいる。ここで根が生えてい  
 る。  
 ※ကြိုးခန်း၊ အေး そこ。あそこ。 အေး၊ ရုပ်。  
 အေး၊ ကြိုးခန်း၊ အေး 現地／地元の人。  
 ※ကြိုးခန်း၊ အေး 住居。住んでいる所。  
 မြှေး၊ ကြိုးခန်း၊ အေး 家を引っ越す。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပေါ်၊ ရုပ် 墓地。
- ※ကြိုးခန်း၊ မာရ်၊ ခြံ 射撃練習場。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပေါ်၊ ဆုတ် 洗濯屋。クリーニング屋。  
 (←店)。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြဲ၊ မြဲ 産地。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြဲ၊ မြဲ၊ မြဲ 受け。案内所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြဲ 家(←場所)。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြဲ၊ ပြောပါ 道の分岐点。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြဲ 別の所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပါယာ 釘場。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြဲ၊ မြဲ 釘場。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မာရ်၊ ပြော၊ ပြော 事故現場。  
 ပြော၊ ပြော၊ ကြိုးခန်း၊ မာရ်၊ ပြော၊ ပြော 事  
 故現場の状況／様子。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မာရ်၊ ပြော 事件／事故の現場。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ရပ်၊ ရပ် 怪我をした所。負傷箇所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မူက 売り場。 ကြိုးခန်း၊ မူက。  
 ပြော၊ ပြော၊ ပြော 食料品売り場。  
 ※ကြိုးခန်း၊ လု →ပေါ်၊ ကြိုးခန်း၊ လု၊ စွဲ いい席  
 を予約しておく。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပြု၊ ပြု 飲み食いする店。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပျောက 泊まる所。宿舎。 ပြော。  
 ပြော၊ အန်၊ ကြိုးခန်း၊ ပျောက 宿舎を手配する。  
 ※ကြိုးခန်း၊ ပြု၊ ပြု 製鉄所。  
 ※ကြိုးခန်း၊ မြှုပ်၊ မြှုပ် 席。  
 ※ကြိုးခန်း၊ များ၊ များ၊ မြှုပ် どこか。 ပြော၊ အေး。  
 ကြိုးခန်း၊ များ၊ များ၊ မြှုပ်၊ မြှုပ် どこか遠い  
 所に行きたい。  
 ※စု၊ ကြိုးခန်း 場所を誤る。  
 ※ပြော၊ ကြိုးခန်း 全ての場所に。  
 ※ပြော၊ ကြိုးခန်း →စွဲ၊ ပြော၊ ကြိုးခန်း 場所  
 の間隔をあける。



- ※ກ່ອງຍຸ້ນ.ິຜົມ ハンカチ。お手ふき。
- ※ກ່ອງຍຸ້ນ.ິ້າກ 刺しゅうしたハンカチ。
- ※ກ່ອງຍຸ້ນ.ຳນົມ.ິຜົມ 水玉模様の布。
- ※ກ່ອງຍຸ້ນ.ີຕະ.ີຕາ ①タオル。②タオル地。
- ※ກ່ອງຍຸ້ນ.ິ້າກ スカーフ。
- ※ກ່ອນ.ກ່ອງຍຸ້ນ ハンカチ。小さい布。
- ※ກ່ອນ.ກ່ອງຍຸ້ນ (牛の第4胃)。
- ີຕະ.ກ່ອງຍຸ້ນ →ິຜົມ.ີຕະ.ກ່ອງຍຸ້ນ (王) 泣く。 ິຜົມ.ີຕະ.ກ່ອງຍຸ້ນ.ິສາຍ ີມາກ.ິມາ.ິຕະກ 王が深く悲しんで泣く。
- ※ີມາກ.ກ່ອງຍຸ້ນ (遊び) ハンカチ隠し。
- ※ີມາ.ກ່ອງຍຸ້ນ (婚約式に使う赤い小布に包んだピンロージ)。
- ກ່ອສ [konsai] = ິກ່ອສ (俗)。(名) ①後部。  
②船尾。とも。
- ※ກ່ອສ.ກ່າວໜັນ 船尾。
- ດ້ານ.ກ່ອສ.ກ່າວໜັນ (船尾に立っている柱)。
- ※ກ່ອສ.ທີ່ とも(←舟の)。
- ※ກ່ອສ.ຜູ້ (家の後ろの部分)。家の奥。
- ※ກ່ອສ.ຈົດ 車の後部。
- ※ກ່ອສ.ສຸກະກົມ (出家する前の釈迦の妻)。
- ※ກ່ອສ.ບົນ 舟のともに座って舵をとる。
- ກ່ອສາມ [konsaom] (cf. ິກ່ອສາມ) (名)  
①(円錐形／楕形／ドーム状のもの)。②システム。構造。③(数学)式(?)。④束ねたもの。ິຫະ.ກ່ອສາມ 花2房。
- ※ກ່ອສາມ.ິຜົມ 乳房。
- ※ກ່ອສາມ.ຄົກົດ ①ຄົກົດの巣。②(火葬にする時に遺体を乗せる台)(←下から火をつける)。
- ※ກ່ອສາມ.ິ້າ ①(アジサイのように、小さい花が沢山集まって丸い形になっているもの)。
- ②花のがく(萼)。
- ກ່ອສົມ [konsom] (名) ①(木の枝や草などをざつと縛ったもの)(←中に魚を入れたり、あるいは魚を捕まえたりするのに使用)。②(バーゲンなどでごっそり買いこんだ)～抱え(の品物)。
- ※ກ່ອສົມ.ິຕີ (ກ່ອສົມに魚を入れたものひとつ)。
- ກ່ອປ [kop] (形) ①運の良い。才能に恵まれた。  
②(性質／設備を)備えている。③(トラブルがなくうまく好都合に仕事が進む)。④よく利く(薬)。⑤豊作の。当たり(年)。ິດູ້.ິດູ້.ກ່ອປ.ິຕີ 今年は不景気だ(=商売が儲からない)。
- ※ກ່ອປ.ິຕາ →ິສ່າງ.ກ່ອປ.ິຕາ 仲よく暮らす。
- ※ກ່ອປ.ິມ →ິກ.ິມ.ິດູ້.ກ່ອປ.ິມ 生業がうまくいく／成功する。
- ※ິຕະກ.ກ່ອປ ①運がついている。②よく利く(薬)。
- ※ິດູ້.ກ່ອປ (1度人が事故死した場所で続けて何回も事故死すること)。
- ※ິຫຼັກ.ກ່ອປ ①病気に合った薬。②よく利く薬。
- ※ິສ່າງ.ກ່ອປ 安樂／元気に暮らす。
- ※ິກ.ິມ.ກ່ອປ 無事に食っていく／生計がなりたっている。稼ぎが順調だ／良い。商売繁盛だ。
- ກ່ອປ [kop] (ok. kap) (動) ①(物／種子／死体を)埋める。②深く関わり合いになる。③(筋を)違える。ກ່ອປ.ິກົນ.ິຫຼັກ 生き埋めにする。ກ່ອປ.ິກາບ.ິບັນກ 地雷を埋める。
- ※ກ່ອປ.ິຈະດ 埋葬する。
- ິດູ້.ກ່ອປ.ິຈະດ 墓穴。

- \*கப்பு. சுாக் 肩の筋を違える。
- \*கப்பு. கீஷ் → மூக். பிரமாக். திரி. கப்பு. கீஷ் 乗り掛かった舟だからやり通す。
- \*கப்பு. ஜிராக் ①投資する(←長期間). ②賭けた金が戻ってこない。
- \*கப்பு. டடக் → கீத். கப்பு. டடக் 目の玉が飛び出るほど高い。
- \*கப்பு. டடக். பிரக். மாப்பு. செரஸ் 高い地位にあった人が失脚する。
- \*கப்பு. காக் ①泥に埋まる／はまる。②泥に埋める。
- \*கப்பு. ஸுர்ஸு. செஞ்சுக் 肩の筋を違える。
- \*கப்பு. ஸுக் → சி. கப்பு. ஸுக். (சுக். ஸுக்) 出生地。
- \*காய். கப்பு. லுபு. லாக் 秘密にする。隠す。
- \*குப்பக். கப்பு (肉に食い込んだ爪)。
- \*குப்பக். கீக்க. கப்பு 地雷。
- \*குப்பாக். கப்பு 人柄がよくない(←குப்பாக். குப்பாக்கு)の反対)。
- \*குப்பாக். கப்பு 償還不能の元本。
- கடால் [kō·pal] (タミル語. kapal?) (名) 船(←エンジンがある)。கடால். சீவு. ரூபாக் 船が波で揺れる。
- \*கடால். ரூபாக் = மாக். ரூபாக். 浚渫船。
- \*கடால். செஞ்சுக் 軍艦。
- \*கடால். செங்கு 商船。
- \*கடால். தீக் 船(←கடால். றபா:と区別して)。
- △கீத். காக். கடால். தீக் 船便で送る。
- \*கடால். தூய் 船が浸水する。
- \*கடால். பாக் 貨物船。
- \*கடால். சக். தீக் 貨物船。
- \*கடால். ரூபாக் 蒸気船。汽船。
- \*கடால். மூச். தீக் = மாக். மூச். தீக். 潜水艦。
- \*கடால். ஸுர்வா: 救助船。
- \*கடால். ஸுர்வாந் タグボート。
- \*கடால். றபா: 飛行機(←話し言葉としてもっとも多用)。கடால். றபா: . ரூபாக். காக். ரெபா. கீஷ். தாங். க்ளாக் 飛行機が定刻通りに出発／離陸する。
- △கீத். கடால். றபா: 飛行機のチャーター料。
- △கீத். காக். கடால். றபா: 航空便で送る。
- △குபா. கடால். றபா: 飛行機に酔う。
- △கால. கடால். றபா: 飛行場。
- \*கடால். றபா: . கிச்சாஸ் 紙飛行機。
- காஷா: . கடால். றபா: . கிச்சாஸ் 紙飛行機を飛ばす。
- \*கடால். றபா: . ரெபாக் குட்டி ジェット機。
- \*கீடை. கடால் 船の汽笛。
- \*கடால். கடால் 船尾。
- \*கால. கடால் 港。波止場。
- \*குலா. கடால் 船首。
- \*கூ: . கடால் 船に下りる。乗船する。
- \*க்ளாக். கடால் 港。停泊地。
- \*காஷ. கடால் 船を建造する職人。船大工。
- \*கூ: . கடால் 船に乗る。
- \*கூ: . கடால் 船の便(cf. கூ: . கடால் 是不可)。
- \*கீத். கடால் ①海運業を営む。②船を動かす。
- \*கீத்த. கடால் 船を航行させる。
- \*கூ: . கடால் 海賊をする。
- \*கீத். கடால் ①桟橋。埠頭。②港。

- ※<sup>カ</sup>バ・<sup>カ</sup>ムル 船酔いする。
- ※<sup>カ</sup>バシ・<sup>カ</sup>ムル (船の喫水線から底までの深さ) (←舷から底までをさすこともある?)。
- ※<sup>カ</sup>バシ・<sup>カ</sup>ムル 船を建造する。
- ※<sup>カ</sup>バシ・<sup>カ</sup>ムル 船の汽笛。
- ※<sup>カ</sup>バシ・<sup>カ</sup>ムル 船のスクリュー。
- ※<sup>カ</sup>バシ・<sup>カ</sup>ムル 乗船する。
- ※<sup>カ</sup>バシ・<sup>カ</sup>ムル 船のドック。
- <sup>カ</sup>ビ<sup>チ</sup>ッタ [ka'pe'cāt] (ps. kapi+citta) (名)  
気まぐれ。むら気。
- <sup>カ</sup>バ<sup>ベ</sup>ト [ka'bēt] = <sup>カ</sup>バ<sup>ベ</sup>ト (俗)。= <sup>カ</sup>バ<sup>ベ</sup>ト。
- <sup>カ</sup>ビ<sup>ラ</sup>バ<sup>ス</sup>トス [ka'pe'la'pōasto<sup>2</sup>] (s. kapila+  
vastu)。= <sup>カ</sup>ビ<sup>ラ</sup>バ<sup>ス</sup>ト。
- <sup>カ</sup>ビ<sup>ラ</sup>バ<sup>ス</sup>ト [ka'pe'la'pōasto<sup>2</sup>] (ps. kapila+  
vatthu)。= <sup>カ</sup>ビ<sup>ラ</sup>バ<sup>ス</sup>ト= <sup>カ</sup>ビ<sup>ラ</sup>バ<sup>ス</sup>ト。カ  
ピラヴァース (迦毘羅衛) (=釈迦の生誕地)。
- <sup>カ</sup>ボ<sup>ク</sup> [ka'bo:, ka'ra'bo:] (s. karpūra) (名)  
①樟腦。②(木) クスノキ科クスノキ属クスノ  
キ, *Cinnamomum camphora*.
- <sup>カ</sup>パ<sup>タ</sup>シ<sup>バ</sup>シ<sup>ン</sup> [ka'paota'bakk'sai] (s. kapota+  
pakṣī<pakṣin>) (名) (鳥) ハト。
- <sup>カ</sup>パ<sup>ウ</sup> [ka'paw] = <sup>カ</sup>パ<sup>ウ</sup>。
- <sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup> [kap] (p. kappa) (名) ①(世界が1度  
消滅する時間)。こう(劫)。(←現在は釈迦  
の<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>。この世が終ると次の<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>になる)。  
②非常に長い時間。時代。(→<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>)。
- ※<sup>カ</sup>ニ<sup>シ</sup>・(ブ<sup>バ</sup>シ<sup>ヤ</sup>)・<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup> = <sup>カ</sup>ニ<sup>シ</sup>・  
(ブ<sup>バ</sup>シ<sup>ヤ</sup>)・<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>。劫火 (=この世の終り  
に全世界を燃やし尽くす火)。
- ※<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup> →<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup> 永遠の。
- ※<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup> 永遠の。
- <sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>[<sup>カ</sup>ッカ<sup>フ</sup>] [kappa<sup>2</sup>pruk] (p. kappa+s.  
vrkṣa) (名) = <sup>カ</sup>バ<sup>フ</sup>[<sup>カ</sup>ッカ<sup>フ</sup>]=<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>=  
<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>[<sup>カ</sup>ッカ<sup>フ</sup>] (切利天にある何でも望みのかな  
う木) (←善果をつんだ人のために人間界に生  
じることもある)。如意樹。劫波樹。
- <sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス [kapba:h, kap-] (p. kappāsa)  
(ok. はkrapās<s. kārpāsa>) (名) =  
<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス=<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ム。 (植) アオイ科ワタ属リ  
クチメン(陸地綿), *Gossypium hirsutum*  
(S). ワタの木。
- ※<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>ム・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup> アオイ科ワタ属キダチワタ,  
*Gossypium arboreum* (S).
- ※<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>ム・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup> = <sup>カ</sup>ニ<sup>シ</sup>・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>=<sup>カ</sup>ニ<sup>シ</sup>・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>。  
①ワタモドキ科クロスペルマム属キバナワタ  
モドキ, *Cochlospermum gossypium* (S).  
②(ツタ) トウダイグサ科, *Coelodiscus annamiticus* (S) (←葉は食べられる)。
- ※<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>ム・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス 編織物工場。
- ※<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス = <sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス。ワタの木の芽。
- ※<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス 編花をほぐす。
- ※<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス →<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ム</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス  
綿打ち機。
- ※<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス ①→<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス 16  
Kの金 (←明るい黄色)。②→<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス  
カバガム (イネ)。
- ※<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス ワタの実。
- ※<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス (タケオ州の郡名)。
- ※<sup>カ</sup>ム<sup>ル</sup>・<sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス 木綿の綿。
- <sup>カ</sup>バ<sup>ガ</sup>ス<sup>マ</sup>ム [kapba'sa'mai] (p. kappāsa+  
mai)

maya) (名) 縄で作った物。綿布。綿織物。	kan̥kāt̥.d̥āk̥ 敵をやっつける／一掃する。
カバカ [ka'pēə] (s. kavaka) (名) ①キノコ。 ②かび。	*kan̥kāt̥.kan̥kām̥ 散り散りばらばらにする。粉 碎する。徹底的にやっつける。
カバカヒタ [ka'pēə'ka'k̥i't̥at̥] (s. kavaka + ghāta) (名) かび駆除。	*kan̥kāt̥.k̥ām̥ (俗) 消す (=殺す) .
*क्षेत्र.कबकाहिता 防かび剤。殺菌剤。	*kan̥kāt̥.bhāt̥ (太陽が霧を) なくす。消す。 はらす。
カバカロガ [ka'pēə'ka'rō:k] (s. kavaka + roga) (名) 真菌症。	*kan̥kāt̥.r̥āk̥ 病気を撲滅する。
カバカビ [ka'pēə'ka'vi:t̥u:] (s. kavaka + p. vidū) (名) ①菌学者。②キノコ学者。	*kan̥kāt̥.kan̥kāt̥ (木) ミカン科サンショウ属, Zanthoxylum rhesta (S) .
カバカストラ [ka'pēə'ka'sā:h] (s. kavaka + sāstra) (名) ①菌学。②キノコ学。	kan̥kām̥ [kōmca:i] (<कमा॒) (動) ①粉々に する。粉碎する。②散らばらせる。追っ払う。 (エ) = ऊँगा॒म्.
カピ [ka'pi:] = कपि॑。	*kan̥kām̥.k̥ī → ऊँगा॒.की॑.कमा॒म्.की॑ (う まくいっている他人の仕事を妨害するような言 動をする) .
カム [ko:m] (名) (皮膚病) (←水ぶくれにな り, 中に膿があつて痛い)。	*kan̥kām̥.k̥ī॑ 水しぶきをあげる。
*कमा॒.कमा॒म् (カム) (←痛くて痒い。かいせ んの類?) .	*kan̥kām̥.k̥ām̥॑ 話を広める (←たいていは秘 密のことを) .
カマラ [ka'mol] (ps. kamala) (ok.) (名) = कमला॑。①ハスの花。②気持ち。心持ち。 (②の意味はタイ語から?) .	*kan̥kāt̥.kan̥kām̥ 散り散りばらばらにする。粉 碎する。徹底的にやっつける。
*कमा॒.कमला॒॑ = कमा॒.ज्ञामला॒॑. (心配/興奮で) いても立ってもいられない。 (心配事/憂鬱/ 頭が一杯で) 何も手につかぬ。 (思い通りにな らないので。心配/興奮で) いらいらする。 (思い通りにならないので) むしゃくしゃする。 何をやっても面白くない。	*k̥ām̥.kan̥kām̥ (木) .
カーマンtri [ka'mē'ntri:] (s. karma + indriya) (名) 動作器官 (=首, 手, 足, 肛門, 尿道口 の五つ。→ कर्मायन्त्री॑ 「主要器官」) .	*kan̥kām̥.kan̥kām̥॒॑ (カンポート州の山の名) .
カムカット [kōmcat] (<कमा॒त॑) (動) 除去/駆除 する。全滅させる。徹底的にやっつける。	कमा॒ [kōmca:i] (<कमा॑) (蔑) (名) 未だ熟して ないもの。 (形) まだ熟していない。
	कमा॒गा॑ [kōmcaok] = ऊँगा॒गा॑.
	कमा॒गा॒॑ [kōmcaəp] (<कमा॑गा॒॑) (動) ①約束を確 かに/確認する。保証する。②婚約を正式なも のにする。
	*kan̥kām̥.k̥ām̥.bhāt̥॒॒॑ (代りに弁済する) 保 証人を立てて保証する。
	*kan̥kām̥.k̥ām̥.k̥ī॒॒॑ 担保を入れて保証する。

※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຕາກູ</u> 婚約する。	<u>ກົມບາບ</u> · <u>ສຸດ</u> 暖を温める。
△ <u>ຕົນ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຕາກູ</u> ①婚約者(←相手)。②婚約者同士(←ペア)。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອິນ</u> 体温。
△ <u>ຜົນ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຕາກູ</u> 婚約が解消する。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອືນ</u> 怒らせる。
△ <u>ສັກຍາຍ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຕາກູ</u> · <u>ໂຈ</u> · <u>ກົບ</u> (親が)子供のために婚約してやる。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອີເປີ</u> 太陽熱。太陽の暑さ。日光の熱。
△ <u>ຕົດສີ</u> · <u>ຮັບກົດ</u> · <u>ສູງ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຕາກູ</u> 婚約式。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອີກ</u> → <u>ມາສູງ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອີກ</u> ポイラー。
△ <u>ສົ່ງ</u> · <u>ສູງ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຕາກູ</u> 婚約式を行う。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອາດີ</u> · <u>ມາການ</u> 気温。
※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ໃຈ້ນີ້ນ</u> (子供が生まれた家にお祝いを持って行って、元気な良い子に育つようにと祈る)。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ອຳນະ</u> : ①腹を温める。②酒を飲む。
△ <u>ຕົກລັກ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ໃຈ້ນີ້ນ</u> 見舞金(←使用人や弟子などが仕事中に事故にあった時に出す治療費など)。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ສຸຄົມດູກາຕ</u> 温度。体温。 <u>ສູງ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ສຸຄົມດູກາຕ</u> 温度／体温を測る。
ກົມບຸລ [komeul] (< <u>ຂົມບຸລ</u> ) (蔑) (名) 怠け者。ぐずったれ。(形) 怠けてばかりいる。ぐずな。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ສຸກ</u> ①酒を温める。②酒を飲んで身体を温める。
※ <u>ກົມບຸລ</u> · <u>ຮັບ</u> : → <u>ມະຫຼືສູງ</u> · <u>ກົມບຸລ</u> · <u>ຮັບ</u> : 怠け者。	※ <u>ກົມບຸລ</u> · <u>ກົມບາບ</u> → <u>ມາຄູາ</u> · <u>ກົມບຸລ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 温度の単位。
※ <u>ກົມບຸລ</u> · <u>ຕົດ</u> · <u>ອິນ</u> (怠け者が)だらしなく伸びをする。	※ <u>ຜົນ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 热を伝える。
※ <u>ກົມບຸລ</u> · <u>ຮັບ</u> · <u>ໄປ</u> · <u>ຮັບ</u> 恥ずかしげもない／恥すべき怠け者。	※ <u>ຜົນ</u> · <u>ກົມບາບ</u> (熱でできた)発疹。
ກົມບຸລ [komeul] (古)= <u>ກົມບູລ</u> .	※ <u>ຜົກ</u> · <u>ກົມບາບ</u> (袋にコーヒーの粉を入れて湯につけて煮出し, 火を引いて保温する) (cf. <u>ຜົກ</u> · <u>ກົມບາບ</u> · <u>ຈົບ</u> はしない)。
ກົມບັນ [komeun] (< <u>ຂົມບັນ</u> ) (動) うんざりさせる(←何回も同じこと／繰り言を言って)。	※ <u>ຜົນ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 热を伝える。
ກົມ [kammaŋŋai, komŋŋai] (名) ビロード。	※ <u>ບັນລາຍ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 热を發散する。
ກົມບັນ [komeun] (動)(犬が)歯をむき出して唸る。	※ <u>ມາສູງ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 暖房機。
ກົມດັວ [komdaw] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (名) ①熱。②暑さ。③温度。気温。(動)熱くする。温／暖める。熱する。 <u>ກົມດັວ</u> · <u>ໄສ</u> 火の熱。	※ <u>ກົມບາບ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 温度を測る。
ກົມດັວ [komdaw] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (名) ①熱。②暑さ。③温度。気温。(動)熱くする。温／暖める。熱する。 <u>ກົມດັວ</u> · <u>ໄສ</u> 火の熱。	※ <u>ສູງ</u> · <u>ກົມບາບ</u> 热を計る。
ກົມດັວ [komdaw] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (名) ①熱。②暑さ。③温度。気温。(動)熱くする。温／暖める。熱する。 <u>ກົມດັວ</u> · <u>ໄສ</u> 火の熱。	ກົມດັວ [komtə:] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (動)(大きい声／音を出して)響かせる。大きい音／声を出す。
ກົມດັວ [komdaw] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (名) ①熱。②暑さ。③温度。気温。(動)熱くする。温／暖める。熱する。 <u>ກົມດັວ</u> · <u>ໄສ</u> 火の熱。	ກົມດັວ· <u>ສຸດ</u> 声を大きくする。
ກົມດັວ [komtirat] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (名) 飛び散るもの。 <u>ກົມດັວ</u> · <u>ອືນ</u> · <u>ມາດັວ</u> 話しながら飛ばす唾。	ກົມດັວ [komtirat] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (名) 飛び散るもの。 <u>ກົມດັວ</u> · <u>ອືນ</u> · <u>ມາດັວ</u> 話しながら飛ばす唾。
ກົມດັວ [komtirat] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (動)①(クジャク	ກົມດັວ [komtirat] (< <u>ຂົມດັວ</u> ) (動)①(クジャク

が尾を) 広げる。②大声を出す。

កំណើ [kəmti:] (エ) (< ពេជ្រា ពី). →  
កំណើជា. កំណើ.

កំណើចា [kəmtèc] (< ពេជ្រា ឬ) (動) (物／敵／  
反対意見を) 粉碎する。 (名) 粉碎された破片。  
屑(鉄. 木). (紙. パン) 脊。

\*កំណើជា. កំណើ ①粉碎／粉々にする。②粉々に  
なったもの。破片。

\*កំណើជា. ជា. ធម្មូ ①粉々にする。

\*កំណើជា. ជា. ធម្មេ ①粉々にする。 កំណើជា.  
សុគ្រាយ. ជា. ធម្មេ 敵を粉碎する。

\*កំណើជា. ធម្មន 鉄屑. 脊鉄。

\*កំណើជា. ធម្មី → បែងចាប់. តាម៖. កំណើជា. ធម្មី  
灰皿。

\*កំណើជា. ធម្មោ 木がほとんど残っていない森  
(←火事／伐採で)。

\*កំណើជា. ធម្មស ①金の粉 (←金銀細工で金を  
削ってできたもの)。②スパンコール。

△តុក្រាយ. កំណើជា. ធម្មស スパンコールで飾る。

\*កំណើជា. ធម្មកា のこ／おが屑。

\*កំណើជា. សុគ្រី (綿に混じっている不純物)。

\*វិភាគ. កំណើជា こなごなに破る。

កំបុង [kəmbɔ:n] (< កុណុំ) (名) ①(合掌し  
た手)。②(水などをすくう形にした手)。③  
(両手又は片手の掌ですくったひとすくいの  
量)。～すくい。

កំបុង [kəmbɔ:n] (កុណុំの俗)。

កំបុង [kəmpɔ:b] (エ) → កំបុង. កំបុង。

កំបុង [kəmpɔ:b] (エ) (< កុណុំ). → កំបុង.  
កំបុង。

កំបុល [kampɔ:l] (ps. kambala) (名) 毛織

物。らしゃ {羅紗}。 សំពាត. កំបុល らしゃ  
{羅紗}。

កំបុលទំស្វោ [kampɛə?lɛə?pɔəh] (s. kambala  
+vastra) (名) 毛織物。

កំបុស្ថ [kəmpɔ:bh] (< កុណុំ) (名) (山／建物  
／飛行機／教育／声／背の) 高さ。身長。高度。

\*កំបុស្ថ. កំបុស្ថ 高さ。

\*កំបុស្ថ. កំបុស្ថ 高さ。

\*កំបុស្ថ. ធម្ម. ធម្ម → រូបភាក. កំបុស្ថ. ធម្ម. ធម្ម  
自慢する。

\*កំបុស្ថ. ធម្មស្ថ ①身長。

\*កំបុស្ថ. សំរុច្ចឹង 音／声の高さ。

\*ដក. កំបុស្ថ 背がのびる。

\*តិតាន. កំបុស្ថ (飛行機の) 最高高度。高度  
の限度。

ធម្មស. កំបុស្ថ～ 高さが～ある。 ធម្ម.

កំបុស្ថ. ធម្ម. ធម្ម ①高さが5メートルある。

\*រូបភាក. កំបុស្ថ 高度。

\*រូបភាក. កំបុស្ថ 誇る。自慢する。威張る。

\*រូបភាក. កំបុស្ថ 走り高飛び。

\*រាយ. កំបុស្ថ → និរាយ. រាយ. កំបុស្ថ (互  
いに自分が相手より優っているとほのめか  
してしゃべる)。

\*រាយ. កំបុស្ថ 高さを測る。

\*សុគ្រី. កំបុស្ថ 高さを測る。

\*សុស្ថ. កំបុស្ថ とても高い。

កំបុង [kampu:] (ps. kambu) (名) ①金。②金  
の腕輪。③法螺貝。

កំបុង [kampuc, -pu?cɛə?] (ps. kambu+ja,  
または, kamvu「人名」) (モ) カンボジア。

កំបុងប្រាទេស [kampu?cɛə?pratɛ:h] (កំបុង+s.

+pradesa) (名) カンボジア国。

កម្ពុជា [kampu<sup>č</sup>ea<sup>o</sup>mu<sup>t</sup>] (ក + s. mitra) (名) カンボジアとの友好国。

កម្ពុជាអាធ [kampu<sup>č</sup>ea<sup>o</sup>r̥ea<sup>t</sup>] (ក + p. raṭṭha) (名) カンボジア国。

កំបុង [kampu<sup>č</sup>i<sup>a</sup>] (s. kambu+jā<ja, または, kamvu「人名」) (ok. kamvuja : 合成語中) (名) カンボジア。

\*កំបុង·ឲ្យការយោគ コーチシナ。

\*កំបុង·អូត·កំបុង ミス・カンボジア。

\*ក្រសិរី·កំបុង → ព្រះ·ក្រសិរី·ព្រះ·នាមេរោគ·ក្រសិរី·កំបុង カンボジア国王。

\*បាន្ហរក្រារ·កំបុង ミス・カンボジア。

\*ប្រទេស·កំបុង カンボジア国。

កំបុងរដ្ឋ [kampu<sup>č</sup>i<sup>a</sup>ra<sup>t</sup>] (ក + p. raṭṭha) (名) カンボジア国。

\*ខេត្តកំបុង·សាធារណៈ·សិរីលី·កំបុងរដ្ឋ カンボジア文官年金基金。

កំបុងមី [kampu<sup>č</sup>m̥ei] (p. kambu+maya) (名) 金製品。 (形) 金製の。

កំបុងមាលា [kampu<sup>č</sup>mi<sup>a</sup>li<sup>a</sup>] (p. kambu+mālā) (名) 金鎖。 金の輪。

កំបុងចាំ [kampō:c, -po<sup>č</sup>ea<sup>o</sup>] (s. kamboja) (名) ①カンボージャ (=បាគ្វិជា「南贍部州 = インド」21か国の中のひとつ)。 ②カンボジア。

កំបុងធម៌ [kampō:čuk] (s. kamboja+ika) (名) ①カンボジア人。 ②カンボジア人の男性。

កំបុងធម៌កា [kampō:či<sup>a</sup>ka:] (s. kamboja+ikā<ika)。 (កំបុងធម៌កの女性形)。

កំបុង [kam] (p. karma) (名) ①行為。 ②業

{ごう}。 ③(前世の業の結果としてのこの世での) 悪運。 不運。 ④(文法) 目的語。 ⑤放射線。 កំបុង·ពិបាទ់ 前世からの業。 ឌី。

កំបុង·អី·របស់·ឲ្យឱ្យ·អី ああ, 何という我々の運命なのだろう。

\*កំបុង·កំសុល់ ①善行。 善い行き。 ②善行の報い。 善果。

\*កំបុង·ឲ្យការ៖ 因果。

\*កំបុង·ដំឡាក់៖ 直接目的語。

\*កំបុង·បំបាត់·ដំឡាក់៖ 間接目的語。

\*កំបុង·អាជីវិត ①悪行。 悪い行き。 ②悪行の報い。 不運。 不幸。

\*កំបុង·អាជីវិត ①悪運。 不運。 不幸。 ឥឡូវ·អាជីវិត·តាតិ·ធ្វើការ·ឲ្យឱ្យ·អី 不幸にも彼は病気になった。

\*ឥឡូវ·ឥឡូវ (結婚し愛し合っているにもかかわらず, 死とか他の理由で別れなければならない2人)。

\*តាម·កំបុង ①→តាម·បានក្រួយ·តាម·កំបុង 運命に従って。 ②→តាម·ឲ្យក្រសិរី·តាម·កំបុង 運まかせで。 なるようになるとして。

\*តាម·កំបុង·ផែ៖ (これも前世の業だから) あきらめよう。

\*ខេត្ត·កំបុង ①=ឲ្យ·កំបុង。 ②「これも前世の悪業の報いだ」としてこの世の不幸を受入れる。

\*ជំហុត·កំបុង ①運命。 ②業果。 行為の報い。 ③→ជំហុតកំបុង。

\*ជំហុត·កំបុង (前世の悪業の結果) 現世で不運に見舞われる。

\*ជោរី·កំបុង 前世の悪業の報いを受けさせる (←ជោរី している時, 以前に殺したりした

- 動物等がムカ・カムにくる。それに負けて逃げ  
だすとカマカが破れる)。
- \*カマ・カム = カマ・カム。前世の悪業の報いを受ける。(前世の悪業の結果としてこの世で)苦しみを受ける。
- \*カマカ・カム ①業(ごう)から脱する。②死ぬ。
- \*ムカ・カム →ムカ・ムカ・ムカ・カム 悪いことは決してしないと誓う。
- \*カマカ・カムカ 悪業の報いを受ける時。年貢の納め時。
- \*ムカシ・カム 業(ごう)を積む。
- \*ムカシ・カム 悪業の報いを受ける。
- \*ムカシ・カム 業(ごう)が尽きる。
- \*ムカシ・カム・カム・カム 夫婦としての縁が尽きる。カムカム [kamma'ku:] (p. kamma+kara) (名)肉体労働者。労務者。 ムカシ・カムカム・カム・カム 全労働者。
- \*カムカム・カム ①ドック人夫。荷役人夫。②水夫。
- \*カムカム・カム 港の荷役人夫。
- \*カムカム・カム・カム 熟練工。
- \*カムカム・カム = カム・カム。ルモク引き(←人)。
- \*カムカム・カムカム 鉱夫。坑夫。
- \*カムカム・カムカム 日雇い労働者。
- \*カムカム・カムカム = カムカム・カムカム。専門工。
- \*カムカム・カムカム 現場監督。
- \*ムカシム・カムカム 労働者組合。
- \*ムカシム・カムカム・カムカム・カム 国際労働者同盟。
- \*ムカシム・カムカム 労働組合。
- カムカラ [kamma'ka:] (p. kamma+kāra) (名)委員会。
- \*カムカラ・カムカラ 試験委員。
- \*ムカシム・カムカラ 委員会。(ムカシム・カムカラ+~は見出し語ムカシムの中を見よ)。
- \*カムカラニ [kamma'ka're'ni:] (p. kamma+kārin) (名)業の女性形)。
- \*カムカイ [kammakk'ai] (p. kamma+khaya) (名)業の消滅。業が尽きること。(←その結果死ぬ)。 カム・ムカシ・カム・カム・カムカイ・カムカイ 彼は業が尽きて死んだ。
- \*カムヂ [kammōdži] (f. command) = カムヂ (動)①(服を)あつらえる。(料理を)注文する。②命令する。 カムヂ・カムヂ・カムヂ・カムヂ 服をあつらえる。 カムヂ・カムヂ・カムヂ 余分に注文する。
- \*カムカムカム [kammaccē'a'vi'at] (エ) (p. kamma+ja+vāta) →カムカム・カムカムカム。
- \*カムカム [kammatt'a:n] (p. kamma+ṭhāna) (名)瞑想。止観(←止=瞑想して一切の外部のものに心を動かされず心を特定のものに注ぐ)。観=「止」により正しい知恵を得て対象を正しく見る。→カムカムカムカムカム, カムカムカム, カムカムカムカムカムカム, カムカムカムカムカムカムカム。
- \*カムカム・カムカム 瞑想を行う。
- \*カムカム・カムカム 瞑想の師。
- \*カムタ [kammanta?] (p. kammanta) (名)①仕事。②行動。③(機械の)力。
- \*カムタニヨム [kammanta'ni'yōm] (p. kammanta

- +niyama) (名) 労働党の社会主義。 *カムニヤマ*
- ※*カムニヤマ* 労働党員。
- カムンタラヤ* [kamma<sup>nta</sup>ra:i] (p. kamma + antarāya) (名) ①仕事の危機。仕事が駄目になること。②業から生じる危険／災難。
- カムンサル* [kamma<sup>nta</sup>sā:l] (p. kammanta + sālā) (名) 工場 (←手工業の)。仕事場。
- ※*カムンサル・カムナム* 縊織物工場。
- ※*カムンサル・カムンタラヤ* 手工業品。
- ※*カムパッカイ* [kamma<sup>p</sup>accāi] (p. kamma + paccaya) (形) 業によって生じている。業による。
- カムボト* [kamma<sup>b</sup>ot] (p. kamma + patha) (名) 所行。業道。 (=人間が身体と口と心で行う行い。 *カムボトカムボツ* 「悪業道」は *カムボツ* 「身業」が殺生、偷盜、邪淫、の3. *カムボツ* 「口業」が妄語、両舌、悪口、綺語の4. *カムボツ* 「意業」が貪欲、瞋恚、邪見又は痴、の4. の計10種がある。これらを行わないのが *カムボツカムボツ* 「善業道」)。②(特に) 悪い所行。
- カムパリボダ* [kamma<sup>p</sup>ali<sup>li</sup>po:t] (p. kamma + palibodha) (名) ①仕事に起因する心配や苦労。②仕事に忙しいこと。
- カムボル* [kamma<sup>p</sup>ol] (p. kamma + phala) (名) 業 {ごう} の報い。業果。
- カムボラ* [kamma<sup>p</sup>wol] (p. kamma + bala) (名) 業 {ごう} の力。
- ※*カムビバガ* [kampi<sup>b</sup>ba:] = *カムビバガ*。
- ※*カムピエ* [kamma<sup>p</sup>i<sup>e</sup>] (p. kamma + vera) (名) = *カムビエ*。①互いに悪業で苦しめあうこと。②悪業の報い。不運。
- ※*カムビエ* 不運にみまわれる。
- カムヨニ* [kamma<sup>y</sup>oni:] (p. kamma + yoni) (形) 業 {ごう} から生じた。業 {ごう} による。
- カムロカ* [kamma<sup>lo</sup>k] (p. kamma + loka) (名) この世。現世。
- ※*カムボタ* [kamma<sup>v</sup>o<sup>a</sup>t<sup>o</sup>] (p. kamma + vatthu) (名) ①(書) 趣旨。目的 (←計画や申請等の小さい限定された目的。観光の「目的」で入国)。②主題。議題。③項目。④綱領。⑤課題。⑥(契約の) 対象物。目的物。
- ※*カムボタ・カムボタ* 議題。
- ※*カムボカ* [kamma<sup>v</sup>ī<sup>a</sup>cā<sup>ka</sup>, -ca<sup>ka</sup>] (p. kamma + vācaka) (名) (文法) 受動態。
- カムボカキリヤサバ* [kamma<sup>v</sup>ī<sup>a</sup>cā<sup>ka</sup>ke<sup>r</sup>i<sup>y</sup>a<sup>s</sup>ap] (p. kamma + vācaka + kiriya+s. śabda) (名) (文法) 受動態動詞。
- カムボカ* [kamma<sup>v</sup>ī<sup>a</sup>cā:] (p. kamma + vācā) (名) 竊磨儀軌 (=仏門に入る人が僧としてのつとめを果たすことを衆僧に宣言する言葉。→*カムボカ*)。
- ※*カムボカ・カムボカ* *カムボカ* を唱えて僧としてのつとめを果たすことを衆僧に宣言する。
- ※*カムボカカ* [kamma<sup>v</sup>ī<sup>a</sup>cā<sup>ca</sup>:] (p. kamma + vācā + s. ācārya) (名) 導師 (=出家する人を導いて僧としてのつとめを果たすことを宣言し誓わせる僧)。
- カムボカナ* [kamma<sup>v</sup>ī<sup>a</sup>sā<sup>na</sup>:] (p. kamma + vāsanā) (名) 運命。宿命。

કમ્માવિદ્હિ [kamma <sup>?</sup> vi <sup>?</sup> t'i:] (p. kamma + vidhi)	કમ્માસેત [kamma <sup>?</sup> sət] (p. kamma + siddhi)
(名) ①プログラム。演目。(テレビやラジオの)番組。②予定。式次第。③カリキュラム。授業計画。④綱領。⑤(製造)方法。過程。	(名) ①所有權。②私有物。 સ્વાજીકરણ.
※કમ્માવિદ્હિ.પ્રાતિ.જ્ઞાન બodhi 身体の鍛練プログラム。	કમ્માસેત સ્વાજીકરણ 所有權の獲得。 સ્વાજીકરણ.કમ્માસેત
કમ્માવિબાગ [kamma <sup>?</sup> vi <sup>?</sup> ba: <sup>?</sup> ] (p. kamma + vipāka)	કમ્માસેત.સ્વાજીકરણ 所有權を譲渡する。 સ્વાજીકરણ.કમ્માસેત
=કમ્માવિબાગ. (名) ①(前世の悪業の報いとしての)懲罰。制裁。業果。業報。応報。②(今生の悪業により来世に身分の低いものに生れ変わること)。③大災害。④損害。被害。不利益。	સ્વાજીકરણ.સ્વાજીકરણ この土地は私の私有地だ。 સ્વાજીકરણ
※કમ્માવિબાગ.બાળદા બાળ બાળ બાળ 社会的制裁。	કમ્માસેત.સ્વાજીકરણ 所有物を譲渡する。 સ્વાજીકરણ.કમ્માસેત
※કમ્માવિબાગ.જ્ઞાનદા જ્ઞાન જ્ઞાન જ્ઞાન 刑罰。	કમ્માસેત.સ્વાજીકરણ 土地所有權。
કમ્માવિસાય [kamma <sup>?</sup> vi <sup>?</sup> sai] (p. kamma + visaya)	કમ્માસેત.સ્વાજીકરણ 土地登記簿。
(形) 客観的な。	કમ્માસેત.રાષ્ટ્ર.ક્રાંતિ સહાય ①共同所有。共有權。②共有財産。
કમ્માવિસાયકમ [kamma <sup>?</sup> vi <sup>?</sup> sai <sup>?</sup> ya <sup>?</sup> kam] (p. kamma + visaya + kamma) (名) 客観化。	કમ્માસેત.સ્વાજીકરણ 著作権。
કમ્માવિસાયાત્મ [kamma <sup>?</sup> vi <sup>?</sup> sai <sup>?</sup> ya <sup>?</sup> p'i <sup>?</sup> əp] (p. kamma + visaya + bhāvā) (名) 客観性。	કમ્માસેત.સ્વાજીકરણ 所有權を没収する。(土地を) 収用する。
કમ્માવેદના [kamma <sup>?</sup> vē'teə <sup>?</sup> ni <sup>?</sup> ə] (p. kamma + vedanā) (名) 苦しみ。辛酸。	ક્રાંતિકમ.કમ્માસેત 所有權を譲渡する。
કમ્માવેરા [kamma <sup>?</sup> vē'ri <sup>?</sup> ə] (p. kamma + verā < vera). =કમ્માવિરા.	કમ્માસેત.ક્રાંતિ 所有權を譲る/移す。
કમ્માસુભાસ [kamma <sup>?</sup> sa <sup>?</sup> mutt'a:n] (p. kamma + samuṭṭhāna) (形) 業 {ごう} によって生じた。	કમ્માસેત.ક્રાંતિ 所有權を譲る。
કમ્માસુક્કશ [kamma <sup>?</sup> səkk'sa:] (p. kamma + s. sikṣā) (名) 実習。訓練。研修。	કમ્માસેત.ક્રાંતિ.કરા 所有者。所有權者。
કમ્માસુક્કશકરા [kamma <sup>?</sup> səkk'sa'ka'rəi] (p. kamma + s. sikṣā + kārī < kārin) (名) 実習生。研修生。	કમ્માસુક્કશ [kammassatt'i:ə] (p. kamma + saddhā) (名) ①業 {ごう} を信じること。②業 {ごう} に従うこと。③行うべきことに忠実であること。
	કમ્માસુક્કશ.કરા 所有權の部分委譲 (←このあとに所有者に残るのが ક્રાંતિકમ.કમ્માસેત).
	કમ્માસુક્કશકરા [kamma <sup>?</sup> sett'i:kə:] (p. kamma + siddhi + kara) (名) 所有者。所有權者。
	કમ્માસુક્કશ [kammassatt'i:ə] (p. kamma + saddhā) (名) ①業 {ごう} を信じること。②業 {ごう} に従うこと。③行うべきことに忠実であること。
	કમ્માથિકા [kamma <sup>?</sup> thi <sup>?</sup> ka:] (エ) (p. kamma + adhikāra). →ક્રાંતિ.કમ્માથિકા.
	કમ્માયતાસ: [kamma <sup>?</sup> ya <sup>?</sup> ta <sup>?</sup> na?] (p. kamma + āyatana) (名) 仕事場。



に敷いた布)。

※កំប្លាហុត・អ៊ូត 煉瓦／タイルの床。

※អ៊ូត・កម្រាង 床タイル。

កម្រាស [kəmra:s] (<[kə:s]) (名) 厚さ。

※កស・កម្រាស →ប្រពាយ・កស・កម្រាស 外バス。

កម្រិត [kəmrət] (<[kə:t]) (名) ①規定。制限(の量／重量)。(薬の)1服の量。限度。②(印としての刻み目)。目盛り。度盛り。③含有率。(糖分の)比率。(糖。アルコール)度。④(学力／被害の)程度。(生活)水準。⑤波長。(動)(範囲／目標／時間を)限定する。(規則として)定める。制限する。一線を画する。កម្រិត・ខ្លួន・ការ・ឯច្ឆេទ・ភាព 被害の程度。រលាក・ដំណើន・កម្រិត・ទី・៣ 第3度の火傷をする。រលាក・កម្រិត・២៥・ម៉ែត្រ 波長25メートルの電波。កម្រិត・បណ្តុះបណ្តាល 区画を定める。កម្រិត・ចំណាំ・មនុស្ស・ថ្មី 入場者の数を制限する。កម្រិត・ការ・បាន・ចូល 車の通行を制限する。

※កម្រិត・កញ្ចក់・ខ្លួន・គា 眼鏡のレンズの度。កម្រិត・កញ្ចក់・ខ្លួន・គា・នៃខ្លួន・ត្រូវ・ត្រឹម・ត្រូវការ 眼鏡のレンズの度があわなくなつた。

※កម្រិត・កម្មាធិ →បាប្រា・កម្រិត・កម្មាធិ 温度の単位。

※កម្រិត・កម្មវិធី・ពល ①軍備制限。②軍備制限をする。

※កម្រិត・ការ・ប្រាក់ 利率。

※កម្រិត・ភាព・និធី 学歴(の程度)。最終学歴。

※កម្រិត・ខ្លួន・បំផុត 最高限度。

※កម្រិត・ចំណែក 利ざや。マージン。

※កម្រិត・ជីវិតាទ 生活水準。កម្រិត・ជីវិតាទ・ឡាតាំង・ខ្លួន 生活水準が上がる。

※កម្រិត・ល្អាច 血圧。

※កម្រិត・ថ្មា・ថ្មី・ថ្មី・ត្រូវ 薬の服用量。

※កម្រិត・ខ្លួន・សិក្សា 学力の程度／水準。

※កម្រិត・បាន・មាន ①規定の量。②含有量。កម្រិត・បាន・មាន・អាប់ខ្លួន 塩分の含有量。

※កម្រិត・ពេល 沸点。

※កម្រិត・តាត・រយ 百分率。

※កម្រិត・ករុស・ពេញ (川などの)危険水位。

※កម្រិត・បាន・ពេល (学力の)水準。平均。

※កម្រិត・នុបក・ធាតុ・មាតាស 電波の波長。

※កម្រិត・របាយ 融点。

※កម្រិត・រលូវ ①速度制限。②速度を制限する。

※កម្រិត・និធី 学力(の程度)。កម្រិត・និធី・ល្អ 学力が優れている。

※កម្រិត・នាក់ ①税額。②税額を査定する。

※ការ・កម្រិត 無制限の。

※ចំណាំ・កម្រិត 規定量。

※ដល・កម្រិត 限度いっぱいまで。

※ជាក់・កម្រិត 規制／規定／制限する。制限を定める。

※ដំឡើង・កម្រិត 公定価格。

※តាត・កម្រិត 割り当て分／高／量。

○នាក់・កម្រិត 限度がある。ការ・និធី・និតិ・ការ・នាក់・កម្រិត・របស់・ការ・ថ្មី 我慢にも限度がある。

※ដំស・កម្រិត 限度／制限を越える。

※ <u>かみる・かみしむ</u> 限度を越える。極端な。	<u>かみる</u> [kamiru] (< <u>く</u> ) (名) =
<u>かみれん</u> [kamren] (< <u>く</u> ) (形) 発育不全の。 (名) 発育不全のもの。	<u>かみれん</u> . 去勢された人／動物。芯を止めた植物。 <u>かみれん・かみれん</u> 去勢鶏（←特に今去勢したばかりの鶏）。
<u>かみれい・けい</u> [kamrei·kei] (< <u>く</u> ) (名) 頑固。	<u>かみれい</u> [kamrai] (< <u>く</u> ?) (名) ①利益。②(あらかじめ決められていない報酬)。チップ。お駄賀。③地代。
<u>かみれき</u> [kamreki] (cf. <u>かみれん</u> ) (動) ①動く。②動かす。③(小康を保っていた病気が)急に悪化する。(我慢していた怒りが遂に)爆発する。 <u>かみれき・かみれき・まき</u> 私の腕は動かない。	※ <u>かみれき・く</u> チップ。
※ <u>かみれき・き</u> びくびく動かす／動く。	※ <u>かみれき・き</u> 不正な利益。
※ <u>かみれき・き</u> びくびく痙攣する。	※ <u>かみれき・く</u> 手数料。口銭。歩合。仲介料。コミッション。
※ <u>かみれき・き</u> 身動きできない。	※ <u>かみれき・く</u> 純益。
※ <u>かみれき・き</u> (犬が尾を振るように)しきりに動く。びくびく痙攣する。	※ <u>かみれき・く</u> 特別な利益。
※ <u>かみれき・き</u> ①驚かせる。びっくりさせる。 ②(美人を見て)心を動かす。	※ <u>かみれき・く</u> 純益。
※ <u>かみれき・き</u> うごめく。	※ <u>かみれき・く</u> 投機する。
※ <u>かみれき・き</u> ①止まらず動く。②活気がある。	※ <u>かみれき・く</u> 利益を損なう。
※ <u>かみれき・き</u> → <u>く</u> ・ <u>く</u> ・ <u>かみれき・き</u>	※ <u>かみれき・く</u> 利益／謝礼を得ようとする。
①扇動する。②精神的に刺激する。勇気を奮い起こす。	※ <u>かみれき・く</u> ①手数料。②= <u>かみれき・く</u> トク。
※ <u>かみる・かみる</u> 動画。アニメ。	年金。
<u>かみる</u> [kamru] (< <u>く</u> ) (名) 乾いて固くなってしまったもの。ひからびたもの (←バナナや飯など)。乾物。	※ <u>かみる・かみる</u> 利益税。
※ <u>かみる・かみる</u> : ①ひからびて固くなったまずい食物。汁気のない粗末な栄養もない食物。 ②(乾物のように)あっさりした味のもの。③乾物。	※ <u>かみる・かみる</u> 利益／謝礼をとる。
	※ <u>かみる・かみる</u> 利益を求める。
	※ <u>かみる・かみる</u> チップ(←レストランでの)。
	※ <u>かみる・かみる</u> ①手数料／仲介料をとる(←少し悪いニュアンス。他人の権で相撲を取る)。②利益を得る。
	※ <u>かみらる</u> [kamral] = <u>かみらる</u> .
	※ <u>かみらる</u> : [kamrah] (エ) (< <u>く</u> ) . → かみらる・かみらる:.
	※ <u>かみらる</u> [kamral:] (< <u>く</u> ) (動) ①勇気づける。 勇敢にならせる。②(内心恐ろしいが)勇まし

い態度をとる。はったりをきかせる。③威嚇する。

※କ୍ରମାଚିତ୍ତ ①元気付ける。奮い立たせる。  
(他人を)励ます。②(自分の)勇気をふりし  
ぼる。 କ୍ରମାଚିତ୍ତ·ଉଜ୍ଜ୍ଵଳା·ପାତ୍ର 勇気をふる  
いおこす。

※କ୍ରମାଚିତ୍ତ (怖いのを我慢して)心を奮い立  
たせる。

କ୍ରମାଚିତ୍ତ [kramla:c] (<କ୍ରମା) (名) ①臆病者。  
②おどかしの言葉。 (形) 膽病な。怖がりの。  
(動) 脅して怖がらせる。 କ୍ରମାଚିତ୍ତ·କ୍ରମାଚିତ୍ତ 自分を恐ろしく見せ  
て子供達を追い出す。

କ୍ରମାକ୍ରମ [kramla:c] (<କ୍ରମା) (動) 黒焼きに  
する。真っ黒焦げにする。 (名) 黒焼きにした  
もの。真っ黒に焦げたもの。

କ୍ରମିତ୍ତ [kramlith] =କ୍ରମିତ୍ତ。

କ୍ରମାତ୍ମକ [kramlaw] (<କ୍ରମା) (名) 愚か者。愚  
鈍な人。 (形) ①愚かな。②野蛮な。

※କ୍ରମାତ୍ମକ 愚かな。

କ୍ରମାଶୀଳ [kramla:li] (<କ୍ରମା) (名) ①(肉体/  
頭脳/エンジン/水蒸気の。原子)力。エネル  
ギー。 କ୍ରମାଶୀଳ·ମୁଖ 力が弱い。 ଶାକିତ୍ତ.  
ମୁଖ·କ୍ରମାଶୀଳ 団結は力なり。

※କ୍ରମାଶୀଳ·କାଯ 体力。筋力。(知力に対して)  
肉体の力。 କାଯ·କାର·ରାଧାଯ·କ୍ରମାଶୀଳ·କାଯ  
肉体労働をする。

※କ୍ରମାଶୀଳ·କର୍ମାନ୍ତର 力。元気。

※କ୍ରମାଶୀଳ·କାମ てこ(梃子)の力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ରେସିବ →ପାତ୍ର·କ୍ରମାଶୀଳ·ରେସିବ 力が回復  
する。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପ୍ରାଣ·ମହିମାନ୍ତର 電力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପ୍ରିଣ୍ଟ 気力。意志力。精神力。

△କ୍ରମାଶୀଳ·ପ୍ରିଣ୍ଟ 意気消沈する。

△କ୍ରମାଶୀଳ·ପ୍ରିଣ୍ଟ 意気阻喪する。気力を失う。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ମା·ମନ୍ତ୍ର 慣性力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ମାନ୍ତ୍ରିକତା (胃の)緊張力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ଲେଟ୍ରିସ୍·ମ୍ୟାଗ୍ 自分の努力。額に汗  
すること。 କାର୍ତ୍ତିକ୍ରୂଷ୍ଣ·ରାଧାଯ·କ୍ରମାଶୀଳ·  
ଲେଟ୍ରିସ୍·ମ୍ୟାଗ୍·ରବସ୍ତୁ·କାର୍ତ୍ତି 彼は自分の力で  
家を買った。

※କ୍ରମାଶୀଳ·କିଟ ①武力。軍事力。②=କାନ୍ତି。  
କ୍ରମାଶୀଳ·(କିଟ)。

※କ୍ରମାଶୀଳ·କାଯ ①腕力。暴力。②肉体の力。

△କାର୍ତ୍ତିକ୍ରୂଷ୍ଣ·କ୍ରମାଶୀଳ·କାଯ (知的な仕事でなく)  
肉体労働。

△ପ୍ରିବୀ·କ୍ରମାଶୀଳ·କାଯ 暴力をふるう。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ଟାଙ୍କ 軍力。武装兵力。

△କିମ୍ବାକ୍ତି·କ୍ରମାଶୀଳ·ଟାଙ୍କ ①軍備制限。②軍備制  
限をする。

△ରୁମାଯ୍·କ୍ରମାଶୀଳ·ଟାଙ୍କ 武装解除する。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ଟାଙ୍କ (~を行う) エネルギー。体力。

△କାର୍ତ୍ତିକ୍ରୂଷ୍ଣ·କ୍ରମାଶୀଳ·ଟାଙ୍କ 体力が無い。弱い。疲れ  
やすい。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ଟିକ୍ 実力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ଯାନ୍ତି 機械の力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ରୁଟ୍ରେ 推力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପାତ୍ର 電力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପାତ୍ର·ତାଙ୍କ 大勢の人の力。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପାତ୍ରିକ୍ 圧力。 କାର୍ତ୍ତି·ରାଧାଯ.

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପାତ୍ରିକ୍ 圧力の単位。

※କ୍ରମାଶୀଳ·ପାତ୍ରିକ୍·ପ୍ରସାଦ →ଭାର୍ତ୍ତି·କ୍ରମାଶୀଳ.

- ※សែរសៀវភៅ・ប្រសាទ់ 精神的過労。
- ※កម្មវិធី・សេវា 馬力。 កម្មវិធី・ពិរាណ・សេវា: 2 馬力。
- ※កម្មវិធី・សុវត្ថិភាព →ជិតិមិន・ជិតិតិត្រ・ជាយ។ កម្មវិធី・សុវត្ថិភាព 僧が托鉢で生きていく。
- ※កម្មវិធី・ស្រប 引き付ける力。引力。
- ※កម្មវិធី・សិទ្ធិ・ជាប់ 粘着／凝集力。
- ※កម្មវិធី・អគ្គិសនី ①電圧。②電力。
- △វិក・កម្មវិធី・អគ្គិសនី →ប្រជាប់・វិក・កម្មវិធី・អគ្គិសនី 變圧器。
- △ដឹក・កម្មវិធី・អគ្គិសនី 电力を搬送する。
- △បង្កើត・កម្មវិធី・អគ្គិសនី (コンデンサーを) 放電させる。
- △អនុវត្ត・កម្មវិធី・អគ្គិសនី 放電する。
- ※កម្មវិធី・ប្រុទ្ទិ 神通力。 ប្រាកោញ・កម្មវិធី・ប្រុទ្ទិ 神通力を發揮する。
- ※កន្លែង・កម្មវិធី・(ទៅ) =កម្មវិធី・ទៅ。軍。軍隊。
- ※កន្លែង・កម្មវិធី・អាជ្ញារ・សាធារណៈ 檢察局。
- ※ខ្សោយ・កម្មវិធី 力の尽きた。
- ※ចំលូលិ・កម្មវិធី がむしゃらにやる。いきりたってやりすぎる。
- ※ចិញ្ញមិន・កម្មវិធី ①増強／増援する。②助ける。
- ※ចិញ្ញមិន・ជិតិ・កម្មវិធី 力が減退する。
- ※ចិញ្ញមិន・កម្មវិធី 力が弱る。
- ※ចិញ្ញមិន・កម្មវិធី 労力に見合う。やるだけの価値がある。
- ※ចិញ្ញមិន・កម្មវិធី 興奮剤(←ドーピングの)。
- ※វិជ្ជិស្ស・កម្មវិធី (他より) 力が強いので横柄になる。
- ※បង្កើត・កម្មវិធី 無駄働きをする。
- ※បង្កើត・កម្មវិធី 力を緩める。
- ※បាកោញ・កម្មវិធី 力を出す。体力を使う。
- ※បង្កើតមួយ・កម្មវិធី 増援する。
- ※ចាកក・កម្មវិធី (働きすぎて) 力が尽きる。へとへとになる。
- ※ប្រមូល・កម្មវិធី 力を集め。
- ※វប្បធម៌・កម្មវិធី =ពុមិ・កម្មវិធី。力を使う。
- ※ពង្រីក・កម្មវិធី (音／電波を) 増幅する。
- ※ពង្រីន・កម្មវិធី 力を強める。強化する。
- ※ពង្រារ・កម្មវិធី 全力で／をこめて。
- ※ពុមិ・កម្មវិធី =វប្បធម៌・កម្មវិធី。
- ※មានក・កម្មវិធី 力がある。強い。
- ※មានក・កម្មវិធី・និង～ ～する力がある。
- ※មេដ្ឋាន・កម្មវិធី ①(物事を推進する中心人物)。旗頭。②原動力。
- ※មេក・កម្មវិធី (休んで) 力を回復する／つける。
- ※មេន・កម្មវិធី 力が弱まる。
- ※សង្គចនា・កម្មវិធី 疲れ切った。
- ※ភាគតិ・ភាយ・កម្មវិធី →វិជ្ជិ・ភាគតិ・ភាយ・កម្មវិធី 労力を浪費する。
- ※រៀប・កម្មវិធី 力を合わせる。協力する。
- ※រៀប・កម្មវិធី・គ្មាន 互いに力を合わせる／協力する／手を組む。
- ※រៀបកក・កម្មវិធី ①体力を増進する。②勢いづける。
- ※រៀបកក・កម្មវិធី →សិរី・ប្រាកោញ・រៀបកក・កម្មវិធី 子供／弟子のおかげで苦勞して働く必要なく安樂に暮す。
- ※បំបែក・កម្មវិធី (手助けして) 仕事の荷を軽くする。

- ※សុខាករ់កម្រំង 休息する。
- ※សុខលូករំង 労力を軽くする。
- ※សុវិការ់កម្រំង ①力を必要とする。②他人を頼る／頼って暮らす。
- ※សុវិការ់កម្រំង 無駄働きをする。
- ※សុវិការ់កម្រំង (練習したから) 慣れていてこれ位はできる。
- ※សុវិការ់កម្រំង ①力を測る。②敵情を偵察する。
- ※សុយកម្រំង 体力を増強する。
- ※សុសារ់កម្រំង 力に余る。
- ※សុទិនកម្រំង 力が増す。より強くなる。
- ※សុតិតកម្រំង →ទាមទីតិតអតិតកម្រំង 力の限り。
- ※សុសារ់កម្រំង 力がなくなる。疲れる。疲労困憊する。(សុសារ់កម្រំង+～は見出し語おふの中を見よ)。
- កម្រែត [kəmsat] (<ខ្សែត) (ok. kansat: 人名) (名) ①身寄りもなく哀れ／惨め／貧乏な人。②苦楽を共にする／した人。(形) ①哀れ／惨め／貧乏な。みすぼらしい。②苦楽を共にする／した。 មនុស្សទេនៃកម្រែត នឹងទីនូវ នាក់ この人は私と辛苦を共にしてきた。
- ※កម្រែតកម្រែ ①貧しくて食べる物もない惨めな。②苦楽を共にする／した(人)。
- ប្រព័ន្ធកម្រែតកម្រែ 苦勞をともにしてきた／いっしょに苦勞してきた妻。
- △កម្រែតកម្រែតកម្រែ 困った時の友人。
- ※គុករំកម្រែ 苦しむを共にしてきた人(=夫婦)。
- ※កម្រែតកម្រែ 苦しむを共にしてきた友人。
- ※រំភូនកម្រែ メロドラマ。
- ※តុលាកម្រែ 悲劇。
- កម្រោង [kəmsa:n] (<ខ្សោង) (ok. kansan: 人名) (動) 気晴らし／レクリエーションをする。享樂する。 ឈូលកំសានកម្រោង 映画を楽しむ。
- ※កម្រោងធិត (レクリエーションをして精神の緊張をほぐす)。
- ※កាហណីកម្រោង 遊覧船。
- កាហណីកម្រោង 娯楽。気晴らし。 តាមទីតិតអតិតកម្រោង 単に楽しみとして。
- ※ដែកកម្រោង 気晴らしをしてストレスを取る。
- ※ដែរកម្រោង 気晴らしに出かける。ぶらぶらと散歩する。
- ※ដែរកម្រោងយកទីក្រុងអាកាស =ដែរយកទីក្រុងអាកាស。 散歩する。
- ※ដែរលាក់កម្រោង 楽しみの旅行。漫遊。遊山旅行。
- ※ដែលកម្រោង 別荘。
- ※លើឡិតកម្រោង 楽しく遊ぶ。娯楽／気晴らしをする。
- ※គោលកម្រោង 児童公園。遊び場。
- ※សុលុយកម្រោង 芸事。稽古事。
- កម្រុល [kəmsu:ol] =កម្រុល (古). Ⓐ (<ខ្សុល) =កំសុល (俗)。 (名) ①(熱。水蒸。香) 気。輻射熱。②風の1吹き。Ⓑ (កំសុល) が正しい)。
- ※កម្រុលក្នុង 热氣。輻射熱。
- ※កម្រុលត្រូវការ 冷氣。
- កម្រាយ [kəmsaoi] (<ខ្សាយ) (名) ①弱虫。弱い奴。(←力のない人も、病気がちの人も)。②弱点。



※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ମା·ମାସୁ·ଦ୍ଵୀତୀ·ରେଣୁ·ଶ୍ରୀନି  
陛下。

※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ମା·ମାସୁ (王への2人称代  
名詞)。

※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି  
はい (←王への  
返事)。

※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି·ଗାନ୍ଧୀ =ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·  
ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି·ଗାନ୍ଧୀ。現在治世中の王。

※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି·ଗାନ୍ଧୀ·କମ୍ପନ୍ତି  
カン  
ボジア国王。

※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି·ଗାନ୍ଧୀ =ପ୍ରତିଃ·  
କରୁଣା·ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି·ଗାନ୍ଧୀ。

※ପ୍ରତିଃ·କରୁଣା·ର୍ଷାତ୍ମକୀସମ୍ବୁଦ୍ଧି  
はい (←王への返  
事)。

※ରୂପାତ୍ମକା·କରୁଣା ①慈悲。哀れみ。②慈悲をか  
ける。哀れと思う。

※ମାସୁ·କରୁଣା 哀れみ同情する。

କରୁଣାଦିତ୍ୟ [ka'ru'na·t̪iø̃] (s. karuṇā +  
dharma) (名) 哀れみの情。

କରୁଣାଲାଭ [ka'ru'na·p'iø̃p] (ps. karuṇā +  
bhāva) (名) 慈悲。

କରୁଣାରୁଦ୍ଧା [ka'ru'na·r̪u'd̪ha] (ps. karuṇā + rasa)  
(名) 慈悲の力。

କାରୋଇୟମ୍ବାନ୍ଦୀ [ka'raem kae] (f. crème. -) (名)  
アイスクリーム。

କଳା [kol] (s. kala) (名) ①策。策略。計略。  
策謀。②奇術。手品。

※କଳା·ମାସୁ 策略。

※କଳା·ଯୁଦ୍ଧ �戦術。

△କଳା·କଳା·ଯୁଦ୍ଧ 策士。策略家。

※କଳା·ଲ୍ୟାପ୍ଟିକ୍ 秘密の計略／策略。

※କଳା·ଇଥାମ୍ବ =ଇଥାମ୍ବକଳା。策略。

△ଫର୍ମ·କଳା·ଇଥାମ୍ବ 策略を使う。

△ରାଜ·କଳା·ଇଥାମ୍ବ =ରାଜ·କଳା。

※କଳା·କଳା 計略。ちょっとした嘘。

※କଳାଟ୍ରାନ୍ସ·କଳା 計略にかかる／やられる。(相  
手に) してやられる。

※ରାଜ·କଳା =ରାଜ·କଳା·ଇଥାମ୍ବ。方策をさがす。

※ମହାଶ୍ରୀ·କଳା ①手品／奇術をする。②トリッ  
クをかける。ごまかす。

※ଲ୍ୟାପ୍ଟିକ୍·କଳା 策略。

※ଇଥାମ୍ବ·କଳା →ଇଥାମ୍ବକଳା =କଳା·ଇଥାମ୍ବ。

କଳା [kol] (動) ①敷く (←下に)。下に物を  
入れる (←傾かないように。高くするために)。  
ころを入れる。下から支える。敷物を敷く。②  
取付ける (←家具などを)。固定する (←機械  
などを)。(エ) ①→କଳା·କଳା=କଳା·କଳା。②  
→ରାଜ·କଳା。କଳା·ଉତ୍ତରିମ୍ବ·ଉତ୍ତରିମ୍ବ 下に物  
を入れて高くする。

※କଳା·କଳା 背中を物で支える。

※କଳା·ପାର୍ଶ୍ଵା →ରାଜ୍ୟ·କଳା·ପାର୍ଶ୍ଵା あご当て  
(←バイオリンの)。

※କଳା·ମାସୁ (組み版の版面をならし木で均  
す)。

କଳା·କଳା [kol kae] =କଳା·କଳା。

କଳାସିଯୋମ୍ବ [kalsi·yo:m] (f. calcium) (名)  
カルシウム。

କଳାହା [ka'la'ha?] =କଳାହା:.

କଳାହା [kol] =କଳାହା:.

କଳାହା: [ka'la'ha?] (ps. kalaha) =କଳାହା: =  
କଳାହା: (名) 喧咤。争い。騒動。

କଳାହାହାତ୍ତେନି: [ka'la'happā·vatt̪·t̪e·ni:] (p.  
n.)

kalaha + pavaḍḍhanī< pavaḍḍhati ) (名) 喧嘩 ／争い／騒動がどんどん大きくなること。	(名) ①智謀に満ちた策略／術策。②(特に) 悪い策略。
कलाहप्रिरोऽ [ka'la'ha'pi'rō:t] (ps. kalaha + virodhā) = कलाहप्रिरोऽ. (名) ①争いを 生じさせる怒り。②争いから生じる過ち。	कल्प [kal] (s. kalpa) (ok. 人名) (名) (世界が1度消滅する時間)。非常に長い時間。 こう{劫}。時代。 (→ कल्प)
कलप्रिरोऽ [kolpi'rō:t] = कलाहप्रिरोऽ.	※ कल्पस्. कल्प (死にかけている人のあの世へ の道を照らすために灯すろうそく)。
कलाहप्राप्ति [ka'la'ha'p'i'ra:t] (ps. kalaha + bhāva) (名) ①争いの様子。②争い。喧嘩。	※ कल्पस्. (ुपर्य) . कल्प = कल्प. (ुपर्य) . कल्प. 劫火 (=この世の終りに 全世界を燃やし尽くす火)。
कला [ka'la:] (ps. kalā) (名) 膜。	※ अम्. कल्प → अम्. कल्प. अम्. कल्प र 永遠の。
※ कला. 卵膜。	कलप्रधा [kalpañha:] (t. कलप्रधा: kanlapañha:. cf. s. kalpāñka) (名) (サン ゴ) ヤギ類ウミウチワ。
कलापि [ka'la:p] (ps. kalāpa) (名) 東。固 まり。積んだ山。大群。	कल्पप्रूक् [kalpa'pruk] (s. kalpa + vṛkṣa) . = कल्पप्रूक्.
कलापञ्चान [ka'la'pa'c'ān] (ps. kalāpa + jana) (名) ファシスト。	कल्पसप्त [kalpa'sap] (s. kalpa + śabda) (名) 同音異義語。
कलापञ्चियम् [ka'la'pa'ni'yom] (ps. kalāpa + niyama) (名) = लक्ष्मी. कलापञ्चियम्。ファシ ズム。	कल्पवेसान [kalpa'veśa:n] (s. kalpa + avasāna) (名) 劫完 (= こう{劫}が終るこ と。世界の破滅する時)。
कलासन्थान [ka'la'sont'a:n] (p. kalā + sañṭhāna) (形) 膜状の。	कल्पयना [kalyāna] (ps. kalyāna) (ok. kalyāna も) (形) ①美しくて可愛い。②美德 の。道徳的に正しい。
कलिङ्ग [ka'līṅgə] (s. kaliṅga) (名) カリン ガ (= लक्ष्मी「南瞻部州=インド」21か国 の中のひとつ)。	※ कल्प. कल्पयना 良い娘さん (←呼び掛け)。
कलियुग [ka'lī'yuk] (ps. kali + yuga) (名) ①不幸な時代。末法の時代 (←仏教の)。腐敗 した時代。③壞期 (→ युग). ②反乱。内戦。 ③カタストロフィー。大災害 (←地震、大火な ど)。	कल्पयनाकर्म [kalyāna'ka're'm] (p. kalyāna + kārinī<kārin). (कल्पयनाकर्मの 女性形)。
※ कलिङ्ग. कलिङ्ग. कलियुग 国が乱れる。	
कलाघाति [ka'laobā:i] (s. kala + upāya)	

କଲ୍ୟାଣକାରୀ [kalyā-na'ka'rī] (p. kalyāṇa + kārī<kārin) (名) 善行をする人／男。	କବିନିବନ୍ଧନ [ka'vaini'p'ōn] (ps. kavi+nibandha) (名) 詩人。詩作者。
କଲ୍ୟାଣକୁଳ [kalyā-na'kuṇ] (ps. kalyāṇa + +guṇa) (名) 優れた徳。	କବିନିବନ୍ଧନ [ka'vaini'p'ōn] (ps. kavi+ +nibandha) (名) ①詩を書くこと。②詩文。詩。
କଲ୍ୟାଣଧର୍ମ [kalyā-na't'v̥e] (s. kalyāṇa + dharma) (名) 善。	※କବିନିବନ୍ଧନ·ରଙ୍ଗଜଳ·କିଃ 風刺詩。
କଲ୍ୟାଣପୁତ୍ରଜନ [kalyā-na'po't'o'c'ōn] (p. kalyāṇa + puthu+jana). (→ଭର୍ତ୍ତଜଳ).	※କବିନିବନ୍ଧନ·କବିନିବନ୍ଧନ 詞華集。詩集。
କଲ୍ୟାଣମିତ୍ତ [kalyā-na'mut] (p. kalyāṇa + mitta) (名) 良友。	କବିକାହିକ [ka'vai'p'i'ənvuk] (s. kavi+bhāvika) (形) 詩的な(叙述)。
କଲ୍ୟାଣସିଳ [kalyā-na'səl] (p. kalyāṇa + sīla, s. sīla) (名) 善い戒律。	କସିକମ [ka'se'kam] (p. kasi+kamma) (名) ①農業。②耕作。 ଫରମା·(ରମା)·କସିକମ 農業に従事する／を営む。
କଲ୍ୟାଣଶ୍ରୀ [kalyā-na'strī] (s. kalyāṇa + strī) (名) 良い女性。	※କସିକମ·ଫରମାମଲ 粗放的農業。
କଲ୍ୟାଣଶ୍ରୀପ୍ରେୟ [kalyā-na'ṭy'asrai] (s. kalyāṇa + adhi+āśraya) (名) 良い性質／気性。	※କସିକମ·ଫରମାମଲ 集約的農業。
କଲ୍ୟାଣନୀ [kalyā-nəi] (ps. kalyāṇī<kalyāṇa) (名) 美人。(形) 美しい。チャーミングな。	※କନ୍ଦିନ୍ଦି·କନ୍ଦିନ୍ଦି 農業省。
※କାନ୍ଦି·କଲ୍ୟାଣନୀ = ଯାହା·କଲ୍ୟାଣନୀ. (呼び掛け) (←男が恋人へ)。	※ଫରମାକିରିମା·କସିକମ 農業水文学。
※ଯାହା·କଲ୍ୟାଣନୀ = କାନ୍ଦି·କଲ୍ୟାଣନୀ.	※ଫରମାର୍ଗ·କସିକମ 農業調査をする。
କଲ୍ୟାନୀଯ [kalyānī] (動) 叫ぶ(?)。	※ଭାଗମାର୍ଗ·କସିକମ 農業水文学。
କାଵାକାପ୍ଯ [ka'veə'ka:p] (s. kavaka+apya) (名) (植物学) 地衣類。	※କାନ୍ଦି·କସିକମ ①農業を行う。②耕作する。
କାନ୍ଦି [ka'veini:] (ps. kavinī<kavi). (କାନ୍ଦିの女性形)。	※ଫରମାକିରିମା·କସିକମ 農業技術。
କାନ୍ଦି [ka'vei] (ps. kavi) (名) 詩人。	※ଫରମାକିରିମା·କସିକମ 農業生産者。
※ଟିକଟ·କାନ୍ଦି 詩人の世界。詩壇。	※ଫରମାକିରିମା·କସିକମ 農産物。
କାନ୍ଦିତୋରାମାଲ୍ୟ [ka'veitē'pēə'kaosol, -te'pkao-] (s. kavi+deva+kausalya) (名) 詩の天才的な才能。	※ଫରମାକିରିମା·କାନ୍ଦି·କସିକମ 農業銀行。
	※ଫରମାକିରିମା·କାନ୍ଦି·କସିକମ 農業協同組合。
	※ଫରମାକିରିମା·କାନ୍ଦି·କସିକମ 農業經濟。
	※ଫରମାକିରିମା·କାନ୍ଦି·କସିକମ 収穫物を担保とする預り証。
	※ଫରମାକିରିମା·କାନ୍ଦି·କସିକମ 農業ローン。
	କସିକାର [ka'se'kār] (p. kasi+kara) (名) = କାନ୍ଦିକାର。農民。農夫。
	※ଫରମାକିରିମା·କାନ୍ଦି·କସିକମ 農産物品評会。

ກස් කඩි ගම [ka'se'ka'ci've'a'kam] ( {< -o ກස් කර [ka'se'ka:] } + p. ājīva+kamma) (名) = ගස් ගැඩි ගම. ①農業を生業として行うこと. ②農業発展／開発. ③(ボルボト時代の「農業発展」と称して実は手で笊や籠を編むこと).	ກස් මග ගම ගාස [ka'se'na'kammatt'a:n] (p. -o kasiqa+kamma+ṭhāna) (名) = ගස් මග ගම ගාස. ගස් මග 「三界の煩惱を遠離するための禪觀」を行う場所.
※ ගස් කඩි ගම, ගාය, ගුරු යෝ ගැඩි ගම ගාය, ගුරු යෝ 機械による農業開発.	ກස් මග ගම ගාස [ka'se'na'm'ānd'a:l] (p. -o kasiqa+maṇḍala). = ගස් මග ගම ගාස.
ກස් කර [ka'se'ka:] (p. kasi+kara). = ගස් කර.	ກස් මග පාත්‍ර [ka'se'na'sa'k'sai] (p. kasiqa + s. sākṣi) (名) 証人. 目撃証人.
ກස් සස [ka'se'c'ōn] (p. kasi+jana) (名) 農民. 農夫.	ກස් මග පාත්‍ර [ka'se'nu'pa'ko:] (p. kasiqa + upakarāṇa) (名) (法律) 立会人.
ກස් ඇස [ka'se'tt'a:n] (p. kasi+ṭhāna) (名) = ගස් පාත්‍ර. 農場. 農園.	ກස් සපු [ka'se'p'ōl] (p. kasi+phala) (名) ①農産物. ②(農業の) 収穫.
ກස් මග [ka'sən] (p. kasiqa) (名) ①証人. 証拠. ②(城の周囲の) 堀. ③三界の煩惱を遠離するための禪觀(←用いる品物によって, ප්‍රේක්ෂණ ගාස 「地」, මාතා ගස් ගාස 「水」, තීඛ ගස් ගාස 「火」, ගාය ගස් ගාස 「風」, සිල ගස් ගාස 「青」, ඒත් ගස් ගාස 「黄」, රුහා ඒත් ගස් ගාස 「赤」, දිජා ගස් ගාස 「白」, මාක ගස් ගාස 「空間」, තීඛ ගස් ගාස 「意識」の10種がある). ゆき・み・ගස් ගාස 証拠とする.	ກස් ගාස [ka'se'p'ōen] (p. kasi+bhaṇḍa) (名) 農具.
※ ගස් ගාස, ජාත, පැරිය ගාස 証拠とする.	ກස් ගාස [ka'se'st'a:n] (p. kasi+s. sthāna). = ගස් ඇස.
※ පැංච, ගාස 証人となる. 証言する.	ກස් මාරු [kasme:] (p. kasmīra, s. kaśmīra) (名) カシュミーラ (= ප්‍රේක්ෂණ 「南瞻部州」= インド) 21か国の中のひとつ).
※ ග්‍රෑන, ගාස (土地の境界として土を少し高く盛り上げたもの).	ගස් ගැඩි ගම [kasya'ci've'a'kam] (p. kasi+ājīva+kamma). = ගස් කඩි ගම.
ກස් මග ගම [ka'se'na'kam] (p. kasiqa+ -o kamma) (名) ගස් ගාස 「三界の煩惱を遠離するための禪觀」を行うこと.	ກස් ජුප [kassop] = ගස් ජුප:.
	ກස් ජුප: [kassa'pa:] (p. kassapa) = ගස් ජුප. (名) 迦葉仏(→ ජුප 「佛陀」, ගුජරාත් 「賤劫」).
	ກහා ග [ka'ha:] (ກහා ගの俗). ກහා පානා: [ka'ha'pa'na:] (p. kahāpana) (名) (釈迦在世時代の貨幣) (←銀4 ගුරු = 約60グラムに相当).
	ගස් ගාස [ka'la: tē:n] (ගස් ගාසの俗).

ភាគាហ [ka<sup>h</sup>lao] = ភាគាហ. (普通 ភាគាហ  
が使用されるが ភាគាហ が正しい。→  
ភាគាហ).

ក [ka:] (名) (cf. t. កោ:ka:). 水筒 (←  
元来は竹筒。今は材料を問わない)。水差し。  
(動) 手紙のあて名を書く (←自分の住所を書  
くのも含む)。 (エ) ①→ ឃក·ក. ②→ ឈប.  
ន. (ន).

※កា.ឃវ.សំបុត្រ = កា.ឃស្រាម.សំបុត្រ =  
ឃារ.ឃវ.សំបុត្រ. 手紙のあて名を書く (←差  
出人の姓名などを書くのも含む).

※ក.ទីក (片側に取っ手のついたジャー)。  
ジョッキ.

※ក.ឃស្រាម.សំបុត្រ = ក.ឃវ.សំបុត្រ.  
※សូរិក (魚) サバ, Cybium kuhlii (H).  
កាក [ka:] ① (cf. t. កាកោ:ka:k) (名) ①  
(不要になったもの)。かす。ごみ。(擦り。  
噛み。だしをとった) かす。(味の出てしまっ  
たスープの実)。残滓。② (スープの実の味が  
でてしまった結果) おいしくなったスープ。③  
(ps. kāka) (名) カラス。 (エ) ①→  
ឃកាក.កាក. ②→ ឈប.កាក.

※កាក.បុប្ប 〔蜂蜜〕 蜂蜜をとったかす (←ハチの子も入っ  
ている).

※កាក.ដឹង 〔ココナツミルク〕 の擦りかす.

※កាក.គុរិន.គុ 〔コークス〕 គុរិន.គុ 乾溜してコークスを作る.

※កាក.ឲ្យកាក 酸化銀 (←黒い粉末).

※កាក.ពាប.ស្រា イースト.

※កាក.មិនសុខ 役に立たぬ人。人間の屑.

※កាក.លុក = ឈប.លុក = អាជុប.លុក. ①

ラックカイガラムシの排泄物。②封ろう (←  
លុក.ឈបのかすから作る).

※កាក.សុខ 〔社会の屑〕 (←人間).

※កាក.សុខ 〔味の出てしまったឈបの実〕.

※កាក.សំបុត្រ 不用／用済みの手紙.

※កាក.ស្រា 〔キンマの噛みかす〕 ឃកាក.  
ស្រា 〔キンマの噛みかすを吐き出す〕.

※កាក.ស្រាល 〔サトウキビの噛み／擦りかす〕.

※សុខិន.កាក → ឃកាក.ទីក.សុខិន.កាក.

(ឃារ.ឃវ.កាក.សុខិន.ឲ្យការ) =  
ឃកាក.ទីក.ស្រីជក.កាក. 汗をすすって実を狙  
う (= 猥い性格。内心を隠して表面を良くする  
こと)。何か別の報酬／利益を期待して行う.

※ស្រីជក.កាក → ឃកាក.ទីក.ស្រីជក.កាក =  
ឃកាក.ទីក.សុខិន.កាក. (ឃារ.ឃវ.កាក.  
សុខិន.ឲ្យការ). (→ សុខិន.កាក).

※ស្រា.កាក 粗糖.

កាក [ka<sup>h</sup>] (名) ① (往時の貨幣) (←通例 1  
0分の1リエルに相当するが、5分の1リエル  
や2分の1リエルに相当するものもあった).  
② 貨幣 (←一般に)。 (エ) ①→ ឃកាក.ឃ. ②  
→ ឃកាក.កប. ③→ អាកោ.កាក.

※បុប្ប.កាក (植) シキミ科シキミ属, Illicium  
(S).

※ឃកាក.កាក ① 貨幣。コイン。② 金 (かね).

※ឈប.កាក 〔金銭〕.

កាក.ឃ [ka<sup>h</sup> ka<sup>h</sup>] (音) (鳥の鳴き声).

កាក.កប [ka<sup>h</sup> kɔ:p] (形) ① 運がついている。

② よく利く (葉).

កាកកតិ [ka'ka<sup>h</sup>kə'a<sup>h</sup>te<sup>h</sup>] (ps. kāka+gati) (名)  
(詩の形式) (←1句4音節).

※カカニカニ カカニカニ形式の詩。

カカニカ [ka·ka'nək] (p. kākaṇikā) (名)  
(昔の貨幣) (←カカニカニの半分 = 2 ダナ  
= 約 30 グラムに相当)。

カカニシ [kakton] = カカニ。

カカニソラ [ka·ka'na·so:] (ps. kāka + asura ?)  
(名) (リアムケー中に出てくる頭が山の  
カラス) (←ラーヴァナの祖母)。

カカニバタ [ka·ka'ba:t, ka'ka'-] (p. kāka +  
pāda) (名) 十字形。十字。 (←脱落している  
文字などを挿入すべき場所を示すのに使う)。

※カカニバタ・ウツバタ → ウツバ・カカニバタ・ウツバタ  
赤十字社。

※カカニバタ・オサマガニ ①(棒2本で作った簡  
単なはりつけ台)。②+印。

※ヌガナ・カカニバタ (=「+」)。

カカニサタウ [ka·ka'sa·tuh] (p. kāka + sādisa)  
(名) (動物学) カラス科。

カカノ [ka·ka:w] (f. cacao) (名) カカオ。

カカニ [ka·kai] (ps. kākī) (名) ①雌のカラス。  
②(古典名) (←その女主人公の名)。③身持  
ちの悪い女 (←カカニのヒロインの名から)。

※カカニ・カカニ (植) ショウガ科, Amomum  
medium (H)。

※カカニ・カカニ (植) (←白い芳香のある花が咲  
く)。

カカニ・カカニ [ka·k'aek ka·k'aok] (cf.  
カカニ・カカニ) (音) = カカニ・カカニ。  
(古い家やエンジンががたびしする音)。

カカニ [ka·k'aok] (エ) → カカニ・カカニ。  
カカニ [ka·ki:] (f. kaki) (名) = カカニ・カカニ。

カーキ色。

カク [ka:ŋ] (cf. t. កាគ: ka:ŋ) (動) (翼  
/腕/傘を) 広げる。 (形) ①(水牛の腹など  
沢山食べて) 横にふくれている。 ②曲がったま  
でのびない(腕)。 (エ) → カク・カク。  
カク・スカバ 羽根を広げる。 カク・スカバ 両  
腕を広げる。 イカ:・カク 腹がぱんぱんに張  
る。

※カク・カク ①(沢山食べて腹が) ぱんぱんに  
ふくれている。 ②(やくざが肩をいからせて歩  
くときのように腹を突き出し, 股を広げて身体  
を左右に振って歩く様子)。 ③(満腹で) 腹を  
突き出す。

※ヌカバ・カク (罠) (←ワニやカクシやカク・  
カクなどをつかまえる)。

カク [ka:c] (形) ①恐ろしい。 凶悪/乱暴/意  
地悪/無学で乱暴な。 ②こぼれそうに一杯の。  
カク・カク・ヌカバ 水がヌカバにあふれそうに入っ  
ている。

※カク・リヤガ・リヤガ 残酷な。

※カク・ルク・ルクルク 凶悪だとして有名だ。

※カク・ヌカバカク 凶悪/獰猛な。

※カク・カク 遠慮することをしらぬ。 亂暴/  
無礼/生意気な。

※カクル・カク 無頗漠。

※カク・カク ①凶運。 不運。 ②恐ろしい事件。

※カク・カク 猛犬。

※カク・カク 有害な物質。

※カク・カク (植) ノボタン科, Memecylon?  
(S)。

※カク・カク (植) ホルトノキ科ホルトノキ

属, *Elaeocarpus madopelatus* (S.).

※ ແກມ · ດັບຕິດ · ຕໍ່ໄລ ດາວໂຫຼດ.

※កាប់ទូរបារាំង 引き返す。

※アガ・ウム ①植物の芯をとめる。②他人の足を引っ張る、進歩／出世を妨げる。

[kac] (動) ①(ok. kāc). 折る(←固いものを。2つに離れても離れなくともよい)。  
②(幽霊／悪霊が人にとりついて)殺す。③(ハンドルを)切る。曲がる。④動物を馴らす。  
手なずける。(名)道の曲がり角。

※<sup>アガハ・ハラ</sup> ①(威張っている人や暴れ者の)  
弱点をついておとなしくさせる。天狗の鼻を折  
る。無力にする。勢力をそぐ。②悪意のある心  
を捨てる。

\*首を折る (=殺す).

※ កាជ់·ជាក់ → ដែង៖ មយ. កាជ់·ជាក់. ដែង៖  
 មយ. ជាក់. កាជ់. ជីស. ជាក់ 1本の箸はすぐに  
 折れるが、1束の箸は折れない (= 結団せよ)。

※<sup>アサ・リビ</sup> トランプをカットする。

※めき・めき・めき ①指を折る。②(ぼきぼきと)指をならす。

※アホ・アホ ①気取る、気取った態度をする。

②いばる。

△**辻 真**・**内閣**・**内閣** わざかの事を大袈裟に言って  
自慢する（←たとえば首相と知り合いだという  
が実は首相の孫と1度会ったことがある程度）。

\* ດາວໂຫຼດ · ດາວໂຫຼດ · ດາວໂຫຼດ · ດາວໂຫຼດ 態度と言葉でいばる。

※**កាប់·ស្វែងរក** ①**ស្វែងរក**をつくる／編む。  
②=**រៀបចំ·កាប់·ស្វែងរក**. (遊び) (←日本  
本の「セッセッセー」に似ている).

※ ກາຜ. ສົ່ວັດ ① = ດົບ ສົ່ວັດ. 言葉をねじ曲げる / 曲解する. ② → ກາຜ. ກາກ. ກາຜ. ສົ່ວັດ.

\*ଲାଗ୍ରେଟ୍‌ର୍ସ୍‌କ୍ରୀ ତଥା ଲାଗ୍ରେଟ୍‌ର୍ସ୍‌କ୍ରୀ

※敵國を廣捲する (敵国を) 廣捲する.

\* ດາວັດ:ໄຕ້ນີ້ → ດາວັດ:ນີ້:ດາວັດ:ໄຕ້ນີ້

※ହୀଯ·କାତ୍ତ → ସ୍ଵା·ମ୍ବିନ·ହୀଯ·କାତ୍ତ 破り

に、 $\vee$ 既定的。

六〇

- 71 -

ざと折った短い牙) (←呪力があると信じられていて大変高価).	※ <u>କାତ</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> 熟考する.
※ <u>କାତ</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> ①→ <u>କାତ</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> にかかった犬. ②→ <u>କାତ</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> (罵) (←人へ).	କାଦାତ [ka·da:t] (cf. t. କରାଡାତ : krada:t, kada:t) (名) = <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> . (ツタ) ブドウ科ヤブカラシ属, Cayratia carnosa (S).
※ <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> = <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> = <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> (遊び).	କାଦୁ [ka·do:] (f. cadeau) (名) 贈り物.
※ <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> はみ (←馬具).	କାନ୍ଦି·କାଦୁ 贈り物をする. କାନ୍ଦା·କାଦୁ プレゼントを贈る.
※ <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>କାନ୍ଦା</u> 折れ線.	କାନ୍ଦା [ka:n] (s. kārṇa) (名) (王) 耳.
※ <u>ମାସ</u> · <u>କାତ</u> → <u>ମାସ</u> · <u>ମାସ</u> · <u>କାତ</u> (ヘビ).	କାନ୍ଦାଦା [ka·na·da:] (f. Canada) (名) カナダ.
※ <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> ダンプカー.	କାନୋନ [ka·noŋ] (f. canon) (名) 大砲. カノン砲.
※ <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> → <u>ମା</u> · <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> このやろう! (←女に).	କାନୋଟ [ka·no:t] (f. canot) (名) 小汽船. モーターボート. ランチ.
※ <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> = <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>ମାନ୍ଦା</u> . ①(罵). ②(親しい間での呼び掛け).	※ <u>କାନ୍ଦାଟ</u> · <u>କର୍ମାନ୍ଦା</u> 遊覧船.
※ <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> → <u>ମା</u> · <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> (罵).	※ <u>କାନ୍ଦାଟ</u> · <u>ମାନ୍ଦା</u> モーターボート.
※ <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> (ス <sub>ウ</sub> ニ <sub>ウ</sub> から <sub>ウ</sub> の民間語源). (ス <sub>ウ</sub> ニ <sub>ウ</sub> の俗).	※ <u>କାନ୍ଦାଟ</u> · <u>ମାନ୍ଦା</u> 救命ボート.
※ <u>ମାନ୍ଦା</u> · <u>କାତ</u> 従順な. すぐに言うことを聞く.	କାଟ [ka:t] (f. carte) (名) ①身分証明書.
କାଚା [ka·ca:] (?) (名) エナメル. ほうろう (琺瑯).	②証明書. カード. (エ) ①→ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> → <u>ପ୍ରମାତ</u> · <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> . ②→ <u>ପ୍ରମାତ</u> · <u>କାଟ</u> .
କାଚା [ka·caw] (cf. t. କରାକାଉ : kracaw) (名) (植) シナノキ科ツナソ, Chorchorus capsularis, ପକରାଇବା.	※ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> 郵便はがき (←絵はがきも).
କାଚାଯ [ka·c'a:i] = <u>କାଚାଯ</u> .	※ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> 納税証明書.
କାନ୍ଦା [ka:j] (動) ①よく考える. ②(特に) (よく考えて) 儅約する. けちる.	※ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> 人頭税納税証明書.
※ <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> ①思い悩む. ②熟考する.	※ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> (学童の) 寄生虫検査カード.
※ <u>କାନ୍ଦା</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> ①熟考する. 熟考して推測する.	※ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> メニュー.
②いろいろ考えて悩む.	※ <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> 身分証明書入れ.
	କାଟ·ତାଙ୍କ [ka:t ti·ən] (エ) → <u>ପ୍ରମାତ</u> · <u>କାଟ</u> · <u>ତାଙ୍କ</u> .
	କାଟ [kat] (動) ①切る. 切り離す. (縁を) 切る. (切って) 略語を作る. (友情を) 絶つ. (髪/穂を) 戻る. (恥ずかしいと思う気持ち

を)切り捨てる。(恥を)忍ぶ。②(布を)裁つ。(衣服を)縫う。仕立てる。(cf. កាត់は自分の物の場合も、商売で縫うのも。កាត់ពីរុបាは商売で)。③(虫が服／本を)食う。(酸が)腐食する。侵食する。④(前／野原／海／大空を)横切る。(道路が村を)貫く。(道路が他の道路の上を)越える。(道路が下を)くぐる。⑤(話を)遮る。(喧嘩を)止める。(喧嘩の中に)割り込む。(刀を)受け止める。⑥(料金／賃金を)割引く。(給料を)カットする。差し引く。⑦判決する。⑧火種がつく。⑨(子が父に)似る。⑩(前兆を。シャーマンの言葉を)解釈する。夢占いする。⑪(価格を)定める。(価値を)評価する。(形)混血の。កាត់ជាបី.កំណត់ 3つに切る。ជ្រើន.នៅ.កាត់.គួម.ពី.វិធីន.ទេស.គ្រួង こ<sup>る</sup>の道は村を北から南に貫いている。កាត់.ឲ្យ.ប្រគល.ឲ្យ～～に引き渡せと宣告する。ប្រគល.គ្រួង.កាត់.តាម.ទម្លៃ.តាម.ចំនួន.ប្រគល.គ្រួង 料金は物の重量、数量、体積によって定められる。

\*កាត់.៦ → និយាយ.កាត់.៦ 簡単に／要約して話す。

\*កាត់.៨ 斬首する。

△ប្រជាប់.កាត់.៨ = ឃាសីន.កាត់.៨.ギロチン。

△ឃាសីន.កាត់.៨ = ប្រជាប់.កាត់.៨.

\*កាត់.ការ.ប្រាក.ធម្ម 利子を差し引く。ឲ្យ.ឯធម្ម.ជាយ.កាត់.ការ.ប្រាក.ធម្ម 利子を先に差し引いて貸す。

\*កាត់.កាល 勘当する。(親子の縁を)切る。

絶縁／絶交する。(相続人を)廃除する。កាត់.កាល.កស 子供を勘当する。កាត់.កាល.ទាមាច.វិសល.គ្រួង.ទទួល.ចំណុះកក.ជាតិក 遺産の配分を受けるべき相続人を廃除する。

\*កាត់.៩០.ខាស 恥を忍ぶ。

\*កាត់.កែវ 垂直になる。直角に交わる(←立體交差も)。

△ឧបតាម.កាត់.វិភន 垂線。

\*កាត់.៩១ ①判決する。②裁判する。(→កាត់.សាប័កិ).  
△កិម.សុភា.កាត់.៩១ (あるひとつの事件を協力して裁判する裁判官団)。

△សាលា.កាត់.៩១ = សាលា.កាត់.សាប័កិ = សាលា.កិ.裁判所。

\*កាត់.៩២.៧ 不公平な判決をする。

\*កាត់.ក្រចក 爪を切る。

△ក្រចក.កាត់.ក្រចក 爪切り鉄。

△ប្រជាប់.កាត់.ក្រចក 爪切り道具。

\*កាត់.ក្រជាស → កំបិត.កាត់.ក្រជាស ベーパナイフ。

\*កាត់.៩៣ 月賦にする。សវន.លួយ.កាត់.៩៣ 月賦でかえす。

△ប្រជ.កាត់.៩៣ 月賦で払う。ទិញ.ឡាង.ប្រជ.កាត់.៩៣ 月賦で車を買う。

\*កាត់.៩៤.អារ 服を作る。កំបិត.កាត់.៩៤.អារ 服をあつらえる。

△គ្រឿន.កាត់.៩៤.អារ 型紙。パターン。

\*កាត់.៩៥.ខិត 十字形に交差する。

\*កាត់.៩៥.បុ テープカットをする(←開所式など)。

※ភាគ・ត្រា 交差する。 ប្រាក់・ភាគ・ត្រា 交差する直線。 ផ្ទៃ・ភាគ・ត្រា・លី・វគ្គម 立体交差の道路。

※ភាគ・ចិត្ត 種々の迷いを切り捨てて決心する。 កាត់・ចិត្ត きっぱり決める。 思い切る。 (←瞬間的な決心。 怒っていることが多い)。 ភាគ・ចិត្ត・ទិញាយ 言いにくいことを敢えて言う。

※ភាគ・ចិត្ត・ឈាម 決心する。 思い切る。

※ភាគ・ចិត្ត・តិច すっぱりと割り切る。

※ភាគ・ប្រុង →ប្រមេះ・ភាគ・ប្រុង 淋病。

※ភាគ・ចិញ្ញ ①切り捨てる (←不用な物を)。 (出費を) 切り詰める。 ②分離する。

※ភាគ・ចិញ្ញ 切り捨てる。

※ភាគ・ឆ្លង (国を) 通過する。 橫断する。

※ភាគ・ឆ្លាតី 混血の (人)。

※ភាគ・ឆ្លាត ①(周りを切ったり剃ったりして បានを残す)。 ②បានを切る。

※ភាគ・ជិច្ឆុះ →ភាគ・ដឹង・ភាគ・ជិច្ឆុះ。

※ភាគ・ជិច្ឆុះ →ខ្លួន・ភាគ・ជិច្ឆុះ 対角線。

※ភាគ・រូប្រាង: 名義を書き換える。

※ភាគ・ដែរ =ដែរ・ភាគ。 服を縫う (←洋服屋が客の注文で)。 仕立てる。 (cf. ភាគは自分の物の場合も、商売で縫うのも可。 ភាគ・ដែរは商売で)。 ក្រុង・ភាគ・ដែរ 洋裁を習う。

△ភាគ・ភាគ・ដែរ =ភាគ・ដែរ・ភាគ。 仕立て師。

△ដែរ・ភាគ・ដែរ 仕立屋 (←店)。

△ដឹង・ភាគ・ដែរ 洋裁学。

※ភាគ・ដុំ (ភាគ)・ជិច្ឆុះ ①四肢を切断する。 ②(比) 何もできなくなる。

※ភាគ・ជំនួយ 近道をする。

※ភាគ・ជំនួយ 何の兆しであるかを推測する。

※ភាគ・ជំនួយ・សុទ្ធស័យ →មាន・ចិត្ត・ភាគ・ជំនួយ・សុទ្ធស័យ。 សុទ្ធស័យ 清い心を持っている。

※ភាគ・គិត្យុល 切って滑らかに凸凹がないようにする。

※ភាគ・គិត្យុល 真っすぐ近道する。

※ភាគ・គ្រប់ 値段をつける／決める。

※ភាគ・ទិន្នន័យ ①横断する。 ②横に切る。 ③横に。 橫方向に。

※ភាគ・ឈាម ①裁判する。 ②判決する。

※ភាគ・ទាក់ទង ~ ～に似ている。 ក្នុង・នេះ・ទាក់ទង

ភាគ・ទាក់ទង・រាង・ខ្លួន・ឯក ～ この子は父親に似ている。

※ភាគ・ទាក់ទង・ជាគារ・គិត្យុល すとんと切る。

※ភាគ・ទាក់ទង・មក・ភាគ・គិត្យុល 橫横に走り回る。

※ភាគ・បានិត 斜めに切る。

※ភាគ・ប្រចាំ トランプをカットする。

※ភាគ・ប្រសុទ្ធស័យ (予言ができると信じられている人の発言を色々分析して、宝くじの当り番号などを) 推測する。

※ភាគ・ប្រាក 割り引く。 控除する。 ភាគ・ប្រាក

・ភាគ・ប្រាក・បំណុល 借金から差し引く。

※ភាគ・ប្រាក・ខែ 月給から差引く。

※ភាគ・ប្រាប 切り離す。

※ភាគ・ប្រុង 分割する (←線が)。

※ភាគ・ប្រុង ①道を横切る。 ②近道をする。

ភាគ・ភាគ・ប្រុង 走って道を横切る。

△ដឹង・ភាគ・ប្រុង ①歩いて近道をする。 ②道を横断する。

※ភាគ・ពិនិត្យ 減点する。

- ※ကန်・မန်・မြှေ ~からの雑種だ。
- ※ကန်・မန် →ကန်・မိုး・ကန်・မာတ်.
- ※ကန်・မိုး ①顔をつぶす。②(他人の利益／話を)横取りする。③口をはさむ。話に割り込む。④前を横切る。
- △အိမာယ်・ကန်・မိုး 話に割り込む。話を遮って言う。
- ※ကန်・မိုး・ကန်・မာတ် 出しゃばる。
- ※ကန်・မြှေ・ပြန်လည် (敵を)一掃する。
- ※ကန်・ယခင် ①切り取る。②天引きする。差し引く。 ကန်・ယခင်・ကန်・မဲ့က 遺産から差し引く。
- ※ကန်・ယဉ် 見て／すぐにわかる。暗黙のうちに了解する。 အိမာယ်・ကန်・ယဉ် 暗黙の了解の下に。
- ※ကန်・ယဉ်・စုစု 暗黙のうちに了解して誤解する。
- ※ကန်・ယဉ်・မိုး 言われないことを推測で理解する。
- ※ကန်・ရခိုက်・ရခိုက် ぞんざいに切る。
- ※ကန်・ရအာရာ 妊娠する(←ゾウが)。
- ※ကန်・ရပါန်・ပြန်လည် 木を伐って禿げ山にする。
- ※ကန်・လျော့ →ကြံ့၍・ကန်・လျော့ ワイヤー切り。
- ※ကန်・ဆုတ် 理髪／散髪する(←理髪師にも客にも可)。
- △ကို၍・ကန်・ဆုတ် バリカン。
- △မန်・ကန်・ဆုတ် 理髪師。
- △ထွေး・ကန်・ဆုတ် 床屋(←店)。
- △ပာသ်・ကန်・ဆုတ် 理髪店。
- ※ကန်・ဆုတ်・စုန်・ကန် (昔の男の髪型)(←頭の両わきの髪を長くのばす)。
- ※ကန်・ဆုတ် 夢占いをする。
- ※ကန်・ဆာတ္တာ (いろいろ迷いはあるが決心しないわけにはいかないので、えいっと) 決心する。思い切る。
- ※ကန်・ဆုတ် 夢占い／夢判断をする。
- ※ကန်・ဆုတ် ①判決する。宣言する(←裁判所が)。②裁判する。③話を打ち切る。(→ကန်・ကို)。 ကန်・ဆုတ်・ကြံ့၍・ဆာတ္တာ・စုန် 無罪と判決する。 ဆာဝါ၍・ကန်・ဆုတ် 夫の失踪を宣言する決定書。
- △အိမာယ်・ကန်・ဆုတ် 話題を他へそらして話を打ち切る。
- △ဆာလာ・ကန်・ဆုတ် = ဆာလာ・ကန်・ကို (→ကန်・ကို)。
- △မန်・ကန်・ဆုတ် ①裁判官。②(争いの間にあって黑白を決める人)。
- ※ကန်・ဆုတ် 他人の話を遮る／遮って話し出す。
- △အိမာယ်・ကန်・ဆုတ် 横から口をはさむ。
- ※ကန်・ဆုတ် ①思い切る(←もう迷わない)。②通りかかる。
- ※ကန်・ဆာတ္တာ 推測する。
- ※ကန်・ဆုတ် 草を刈る。
- ※ကန်・ဆာပါ = ကန်・ရုံး・ဆာပါ. 既製の(服)。
- △မန်・ကန်・ဆာပါ 既製服。
- ※ကန်・ဆာပါ = ကန်・ဆာပါ.
- ※ကန်・ဆာပါ・ကို ①話をさえぎる。②歩いていくのを止める。
- ※ကန်・ဆုတ် シャツやブラウスを作る(←自分

が作るものも、職人に作らせるのも、職人が作る  
のも可).

※කාත්·මාපාරා 罰として食べ物を減らす。

※කේංගු කාත් (鎌) (←日本の鎌に似てい  
る).

※ක්ලස්·කාත් 混血児。雑種。

※ක්ලට්ස්·කාත් ①横顔の絵。②プロフィール。

※කාස්·කාත් →ස්ක්ලෝ·කාස්·කාත් 正価。

※ප්‍රිංස්·කාත් →ප්‍රියා·ප්‍රියා·ප්‍රිංස්·කාත් はしつ  
こぎりぎりの所に立つ (←落ちそう)。

※ප්‍රිංස්·කාත්·යාත්·ඩ්රා 都会と行き来のほとん  
どない所。

※ප්‍රිංස්·කාත් 戻り取る。収穫する。

※ප්‍රිංස්·කාත් 横切る。横断する。(道／海／大  
陸)を渡る。

※ප්‍රිංස්·කාත්·කැයෙ ~を経由する。

※ප්‍රිංස්·කාත්·ගුව ①台風／嵐の中を横切る。②  
大きな苦しみ／難関／困難を乗り越える。

※ප්‍රියා·කාත් (他人が) 言い終らないうちに  
答える／口をはさむ。

※ප්‍රියාස්·කාත් 雜種の。

※ප්‍රියා·කාත් ①横切る。②近道する。③通りが  
かる。

※ප්‍රියා·කාත් =කාත්·ප්‍රියා。

※ප්‍රියා·කාත් 金剛砂 (←紙やすりなどの)。

※ප්‍රියායා·කාත් ①話に割り込む。他人が話し  
ているのを遮って話したす。②短くして／簡単  
に話す。

※ප්‍රියාත්·කාත් 割線。

※ප්‍රියාත්·කාත් 車が通りがかる。

※ප්‍රියා·කාත් ①(野原などを) 真っすぐ横切る道。

②近道。

※කාත්·කාත් 略語。

※ක්ලං කාත් 雜種。

※ක්ලංස්·කාත් =ක්ලංස්·ස්ප්‍රී·කාත්. 外科医。

※බ්ලි කාත් 断面。

※බ්ලැග්·කාත් (鋸)。

※බ්ලි·කාත් 走って横切る。

※ස්ප්‍රී·කාත් ①手術する。②解剖する。

※ස්ප්‍රීග්·කාත් (さなぎが食い破って出てし  
まった繭)。

※ස්ප්‍රීස්·කාත් 略記する。

※ස්පාංස්·කාත් 円錐／角錐台。

※ස්පාංස්·ප්ලු කාත් 円錐台。

※ස්පාංස්·කාත් 切り傷の跡。

※ස්පාංස්·කාත් =ස්පාංස්·ජික්ක=ජ්‍යුංජ්‍යා (王)。  
(ピンロージのスライスを干したもの)。

※බ්ලා කාත්~ (川が) ~を流れる。

※බ්ලුයා කාත් 略字。

※බ්ලාස්·කාත් 割り切って決める／判断する／裁  
決する。

කාත්තකිප් [ka·tappēəkəc] (p. kātabba +  
kicca) (名) 責務。職務。(契約から生じる。  
出生届を出す) 義務。 ප්ලාස්·ස්කාබ්·කා·  
බ්ලා·කාත්තකිප් 同時に義務を解消する。

බ්ලා·බ්ලුයා·ඡා·ස්ප්‍රී·බ්ලා·කාත්තකිප් 義務の  
対象物。

බ්ලාත්තකිප්·බ්ලා·කා 連帯責務。

බ්ලාත්තකිප්·ස්ප්‍රීයා (特定のひとつのもの  
でなく多数のものの中のひとつを引き渡すとい  
う義務)。

බ්ලාත්තකිප්·ස්ප්‍රීකාස්ය 不可分義務。

※ <u>ភាគភ្នំពេជ្រ</u> ・ <u>អាបារារណីយ៍</u> 扶養の義務。	<u>កាត់ពី</u> [ka-tai] (c. Cathay) (名) キャセー (航空)。
※ <u>ផល</u> ・ <u>ភាគភ្នំពេជ្រ</u> ・ <u>ខំនិ</u> ・ <u>សុវិ</u> ・ <u>នី</u> ～～に仕事を任せる。	<u>កាត់ទាម</u> [ka-taw] (c. ?) (名) (粉などをふるう) 篩。
<u>ភាគភាគ</u> [ka-ta:] (t. មុោគភាគ : k'a:w ta:k) (名) 干し飯 (←旅行のときなどに持って行く。そのまま食べられる) (→ឆាង・ភាគ)。	<u>កាត់</u> [ka-tom] (t. មុោគមុោ : k'a:w tom) 「粥」。 ラオスでは「菓子」) (名) (菓子) (←バナナをもち米でくるみサトウヤシの葉で包んでゆでたもの)。
<u>ភាគបាប</u> [ka-ta:p] (f. cartable) (名) 鞠。ブリーフケース。書類鞄。	<u>ភាគចារា</u> [ka-t'a:] (ភាគの俗)。
※ <u>ភាគបាប</u> ・ <u>ស៊ូវិឡាណា</u> 通学鞄。	<u>ភាគ</u> [ka:n] (エ) ①→ឆាង・ភាគ。②→ភាគ・ភាគ。 <u>ភាគ</u> [kan] (動) ①手を持つ。握る。つかむ。 (傘／棒／箱／権力／支配権／仕事の責任を)持つ。②(宗教を)信仰する。(～主義を)信じる。(風習／戒律／主義／政策を)守る。③(喪に)服する。④(礼儀／風習に)やかましい。④味方をする。肩を持つ。(前)～の方へ。(学校)へ(行く)。(数)何(日。月。年)も。(エ)→ភាគ・តិតិ。
<u>ភាគចិក</u> [ka-ta:lok] (f. catalogue) (名) カタログ。	<u>ភាគចិនកិ</u> [ka-ta:lik] (f. catholique) (名) カトリック。
<u>ភាគចិក</u> [ka-ta:dok] (s. karttika) . = <u>ភាគចិក</u> 。	※ <u>ភាគចិនកិ</u> ・ <u>មាយិកដស</u> → <u>ភាគចិនកិមាយិកដស</u> 。
<u>ភាគចិនកិ</u> [ka-ta:tep] (話) = <u>ភាគចិនកិ</u> 。	※ <u>ភាគចិនកិ</u> ・ <u>សាសនា</u> → <u>ភាគចិនកិសាសនា</u> 。
<u>ភាគចិនកិ</u> [ka-ta:toj] (エ) (f. carton) = <u>ភាគចិនកិ</u> 。 → <u>ក្រុងស្ទា</u> ・ <u>ភាគចិនកិ</u> 。	※ <u>ភាគចិនកិ</u> ・ <u>សាសនិក</u> → <u>ភាគចិនកិសាសនិក</u> 。
<u>ភាគចិនកិ</u> [ka-ta:lik] (f. catholique) (名) カトリック教。	※ <u>ភូរាង</u> ・ <u>ភាគចិនកិ</u> カトリック教会。
<u>ភាគចិនកិ</u> ・ <u>ភាគចិនកិ</u> カトリック教信者。	※ <u>ភាគចិនកិ</u> ・ <u>សាសនា</u> ・ <u>ភាគចិនកិ</u> [ka-ta:likmi'əmī'ka'cə:n] (f. catholique + p. māmaka + ika + jana) (名) カトリック教信者。
<u>ភាគចិនកិសាសនា</u> [ka-ta:liksa'sa:nə:] (f. catholique + p. sāsana, s. sāsana) (名) カトリック教。	△ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> 占領して支配する。
<u>ភាគចិនកិសាសនិក</u> [ka-ta:liksa'sa:nuk] (f. catholique + p. sāsana + ika, s. sāsana) (名) カトリック教信者。	△ <u>អាជិត</u> ・ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> (仕事の) 責任者。管理者。マネージャー。指揮者。指揮官。監督者。
	※ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> 仕事の責任者／長になる。
	△ <u>អាជិត</u> ・ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> ・ <u>ភាគ</u> マネージャー。支配人。

- \*ກຳນົດ.ກາບ.ຮ່າຍ.ສູງຜິດຕີ →ຂະກ.ນັສ.  
ກາບ.ຮ່າຍ.ສູງຜິດຕີ 善意の占有者。
- \*ກຳນົດ.ກາບ.ໃຈ.ຮ່າງ (財産／遺産を) 管理する。
- \*ກຳນົດ.ກາບ.ທີ່ເປົ້າ.ມະນຸ 独占する。
- \*ກຳນົດ.ກາບ.ຮູ່ 共同管理する。
- \*ກຳນົດ.ກາບ.ສູ່ ~の職にある／就く。
- \*ກຳນົດ.ກາບ.ສົມບາດ 権力を握っている。
- \*ກຳນົດ.ກາຍ 請け負う。仕事の責任をもつ／責任者になる。(物事を)処理する。
- △ຂະກ.ກຳນົດ.ກາຍ =ຂະກ.ນັສ=ຂະກ.ໄຟ.ກາຍ.  
①雇われ人。被雇用者。(cf. 反対はບໍ່ມີ.ນັສ). ②働く人。工員。職人。労働者。
- \*ກຳນົດ.ກີ່ວິຍາ 振る舞う(←動作ではなく性格)。
- \*ກຳນົດ.ກົມຍິດສູນິຍິນ →ຂະກ.ກຳນົດ.  
ກົມຍິດສູນິຍິນ 共産主義者。
- \*ກຳນົດ.ກີ 訴訟で弁護する。
- △ຂະກ.ນື່ງ.ກຳນົດ.ກີ 弁護士を職業にする。
- \*ກຳນົດ.ການີ.ມະນຸ.ປິ່ນກາຍ 支出の任にある。
- \*ກຳນົດ.ກີ່ 何か月も。
- \*ກຳນົດ.ກີ プライドが高い。尊大ぶる。いばる。
- \*ກຳນົດ.ຄົກ ①互いに味方しあう。②互いにつながりがある。③互いに往来する。ບໍ່ມີ.ນັສ.ຄົກ.ຕ້ອງ.ຕ້ອງ.ມະນຸ 互いに往来するための道／水路。
- \*ກຳນົດ.គິສຸສາສາ →ຂະກ.ກຳນົດ.  
គິສຸສາສາ キリスト教徒。
- \*ກຳນົດ.ນັສ →ຂະກ.ກຳນົດ.ນັສ 自分のできる範囲で耕す。
- \*ກຳນົດ.ນັສ.(め)～ =ກຳນົດ.ມະນຸ.ນັສ.

- (め)～. ①～の仕事を持っている。～の職にある。②～代理である。ໄຟ.ກຳນົດ.ນັສ.  
ນັສ～～として／～代理として働く。
- \*ກຳນົດ.ຜິດຕີ ①舵を取る。操縦／操舵する。  
②一番後ろにいる。最後である。
- △ຂະກ.ກຳນົດ.ຜິດຕີ =ຂະກ.ກຳນົດ.ຜິດຕີ. ①運転手。操舵手。②指導者。リーダー。(ຂະກ.ກຳນົດ.ຜິດຕີを多用)。
- \*ກຳນົດ.ຜິດຕີ.ກັບ 国の手綱をとる。
- \*ກຳນົດ.ຜິດຕີ.ມາຍ 行儀よく振る舞う。ນັສ.  
ມາຍ.ມາຍ 行いが正しい。
- \*ກຳນົດ.ຜົບຫາ～～活動をする。ນັສ.  
ຜົບຫາ.ການ.ສິ່ງເນັດ പolitical活動をする。
- \*ກຳນົດ.ຜົມປັບ 法律／規則を守る。
- \*ກຳນົດ.ຜົກ 何年も。
- \*ກຳນົດ.ຜົມຍິດສູນິຍິນ 携帯する。
- \*ກຳນົດ.ຜົກ 列を作る／くずさない。
- \*ກຳນົດ.ຜິດຕີ ①味方／支持する。肩をもつ。②→ກຳນົດ.ຜິດຕີ.ກຳນົດ.ຜິດຕີ.
- \*ກຳນົດ.ໄຟ.ຜິດຕີ 松葉杖をつく。
- \*ກຳນົດ.ຜົກ ①手を握る。②手をつなぐ。
- \*ກຳນົດ.ຜົດ.ກຳນົດ.ຜິດຕີ ①味方をする。②えこひいきする。
- \*ກຳນົດ.ຜົດ.ຄົກ 手をつなぐ。
- \*ກຳນົດ.ຜິດມາກ =ກຳນົດ.ມະນຸ.ຜິດມາກ. 地位／役職につく。就任する。
- △ຜິດມາກ.ກຳນົດ.ຜິດມາກ 職につく。着任する。
- △ຮ່າຍ.ການ.ກຳນົດ.ຜິດມາກ =ຮ່າຍ.ການ.ຜິດມາກ. 任期。
- △ຮ່າຍ.ການ.ກຳນົດ.ຜິດມາກ =ຮ່າຍ.ການ.ຜິດມາກ.

- ※ကန်・ပံ့ခား・၏များ～～を見習う。
- ※ကန်・ဗြိုလ် 禁～をしている。
- ※ကန်・ဗြိုလ်・ကဲ 兼職する。
- ※ကန်・ဘွဲ့ 何日も。
- ※ကန်・ထူး・ဘွဲ့ そっとつかむ／握る。
- ※ကန်・၏။ 裹に服する。
- △ရေးသုတေသန・ကန်・၏။ 裹があける。
- ※ကန်・၏အိမ် 習慣に従う／を守る。
- ※ကန်・ဒေဝါဆ်・ပြန္တ္တာ・ပုံစံ (托鉢して得た食べ物をすべて混ぜてひとつにして食べる)。
- ※ကန်・၏ယာဉ် 政策をとる。
- ※ကန်・ပုံစံ 帳簿を管理する。
- △ရှာယ်・ကန်・ပုံစံ 登記官。戸籍吏。
- △ဆောက်・ကန်・ပုံစံ 帳簿係。簿記係。
- ※ကန်・ပီမာ ①၏ပီမာを行う。②(၏ပီမာの期間中佛教の戒律を守って生活する)。
- △ပုဂ္ဂိုလ်・ကန်・ပီမာ = ပုဂ္ဂိုလ်・နာဂါ・ပီမာ。  
(祭り) (←7つの寺を巡るなど, ၏ပီမာの中のひとつで, ၇၂၃の月下弦1日から15日までに行う)。
- ※ကန်・ပုံစံ 任務／配置につく。 ၁၇၁・ကန်・ပုံစံ・ရပ်စံ・၏။ 配置につく。
- ※ကန်・ကာကွယ်・(ဟန်) = ကန်・ကာကွယ်・ဟန်。約束を守る(←実行する)。
- ※ကန်・ကာကွယ်・(ဟန်) = ကန်・ကာကွယ်・(ဟန်)。
- ※ကန်・တွေ့ဆုံးသူ = ကန်・၏။・တွေ့ဆုံးသူ。
- ※ကန်・၏။ 派閥をつくる。派閥行動をとる。
- ※ကန်・၏။ 吉祥時を守る。
- △မာတော်・ကန်・၏။ (結婚式のための吉
- 日吉時を求めるမာတော်.)
- ※ကန်・၏။ (道士としての戒律を守る)。
- ※ကန်・၏။・တွေ့ဆုံးသူ = ကန်・တွေ့ဆုံးသူ。仏教を信じる。
- △ဆောက်・ကန်・(၏။)・တွေ့ဆုံးသူ 仏教を信じる人。佛教徒。
- ※ကန်・မူဝါဒ၏။ 裹に服する。
- ※ကန်・မူဝါဒ၏။ 裹に服する。
- ※ကန်・မာတော် 振る舞う。行動する。
- ကန်・မာတော်・၏။ 行儀良く振る舞う。行儀／品行が良い。
- ※ကန်・မူဝါဒ・နာဂါ・(၏။)～ = ကန်・နာဂါ・(၏။)～  
(၏။)～. ①～の仕事を持っている。～の職にある。②～代理である。
- △ရေးသုတေသန・ကန်・မူဝါဒ・နာဂါ・(၏။)～～の職／～代理の職につく。
- ※ကန်・မူဝါဒ・နာဂါ・၏။ 兼任／兼職する。
- ※ကန်・မူဝါဒ・၏။ 高い地位にある。
- ※ကန်・မူဝါဒ・ပံ့မာန 支払いを担当する。
- ※ကန်・မူဝါဒ・ပံ့မာန = ကန်・ပံ့မာန。
- ※ကန်・ယက (動産を) 占有する。
- ※ကန်・ရက္ခာ 保持する。
- ※ကန်・ရပ် ①占いや呪文を信じる。②呪文を守ってその規則通りに実行する。
- ※ကန်・ရက္ခာ・၏။ 代訴する。
- ※ကန်・ပုံစံ・ကိမ္ယဒီပုံစံ → ဆောက်・ကန်・ပုံစံ・ကိမ္ယဒီပုံစံ コミュニスト。
- ※ကန်・ပုံစံ・"မာရွှိဒီယံ → ဆောက်・ကန်・ပုံစံ・"မာရွှိဒီယံ マルキシスト。
- ※ကန်・ပုံစံ・ပြုပိပါပိ・၏။ (宗教上の) 禁欲生活／苦行をする。

- \*କାନ୍ତି.ନୁଷ୍ଟା 雨安居をする。 くなっていく。
- \*କାନ୍ତି.ନେତ୍ୟ 規律を守る。 କାନ୍ତି [ka:n] (エ) (s. kānta). →ନୁଷ୍ଟାକାନ୍ତି.
- \*କାନ୍ତି.ସୁଚି: 正直を守る。 କାନ୍ତି [ka:p] (名) (舟や牛車の側面を補強する
- \*କାନ୍ତି.ସୁଚି: 絶対悪いことをしない。 ためのバー)。 (エ) →କାନ୍ତି.କାପ.
- \*କାନ୍ତି.ସୁର �戒律を守る。 କାନ୍ତି.କାପ [ka:p ka:p] (音) (アヒルの鳴き
- \*କାନ୍ତି.ସୁର.ଜପ 全ての戒律を守る (=僧)。 声)。
- \*କାନ୍ତି.ସୁର.ମନ୍ତ୍ର �戒律をあまり厳しく守らない。 କାନ୍ତି [kap] (動) ① (ok. kap, kāp). 叩き切
- \*କାନ୍ତି.ସୁପାରିତ �善行を保つ。 る。 切りつける。 切り殺す／倒す。 ② (鉄を)
- \*କାନ୍ତି.ସୁପାରି �約束を守る。 振りおろす。 (鉄で) 耕す。 (柴を) 戻る。 ③
- \*କାନ୍ତି.ସୁପା →କାନ୍ତି.କାନ୍ତି.ସୁପା 右派の人。 (トランプを) カットする。 (名) (ござ, む
- \*କାନ୍ତି.ମଧ୍ୟାଗ୍ରିତ �中立を守る。 しろなどを数える単位) (←2枚)。 (エ) ①
- \*କାନ୍ତି.ମଧ୍ୟାଗ୍ରିତ ①権力を握る。 ②権力を持つ。 →କାନ୍ତି.କାପ. ② →କାନ୍ତି.କାପ. ଶିର୍ତ୍ତାକାପ.
- କାନ୍ତି.ମଧ୍ୟାଗ୍ରିତ 土が固くて鉄がたたない。
- \*କାନ୍ତି.ମଧ୍ୟାଗ୍ରିତ ① →ଶିଥାଯ.ମା.ରିହ୍ନ୍.କାପ.
- କାନ୍ତି あれこれ言って混乱させる。 ② →ମା.
- କାନ୍ତି.ମଧ୍ୟାଗ୍ରିତ 上を切りつける振りをして見せて下を切りつける。 フェイントをかける。
- \*କାନ୍ତି.ମଧ୍ୟାଗ୍ରିତ ①耕す。 ②開拓／開墾する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �開拓／開墾する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �耕作する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �耕作する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �開拓する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �開拓／開墾する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �開墾して畑にする。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ �畑を耕しかけたままにし
- てある。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ (少しだけ間引き伐採し
- て沢山残す)。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ 開拓する。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ 木を切り倒す。
- \*କାନ୍ତି.କାମ୍ବି.କାର୍ଯ୍ୟ (କାମ୍ବି) 森を切り開く。

- ※កាបិះ →បិបិ・កាបិះ つるはし。
- ※កាបិះ・បន្ទូរ・ទីនា 水路を掘る。
- ※កាបិះ・បង្គ トランプをカットする。
- ※កាបិះ・បំពុជ្រ・វង្រ・ទីក・ត្វូន្តុ たなぼたを待つ  
(=努力しないでいい事が起こるのを待っている)。
- ※កាបិះ・ដីលុ すばっと切る。
- ※កាបិះ・ស្រួល 森／林を切り開く。
- ※កាបិះ・ខែសុំ (大胆に間引き伐採してまばらに残す)。
- ※កាបិះ・សម្ងាបិ 切り殺す。
- ※កាបិះ・ស្អាបិ 切り殺す(←切りつけたら死んだ)。
- ※កាបិះ・ខសុំ 薪を切る(=枯枝などを切りとる)。薪を集める。
- ※ចបិះ・កាបិះ (鍬)(←振り下ろして使う)。
- កាបសិលុ [kapsu:l] (f. capsule) (名) カプセル。 ផ្លូវ・ឈ្មោះ・កាបសិលុ カプセルに入った薬。
- កាបិះ [ka:pə:] (エ) →នៅ・កាបិះ。
- កាបិះសុំ [ka:bā:s] (s. kārpāsa) (ok. krapās) =កបិះសុំ。
- កាបិះណាន់ [ka:bīne:] (f. cabinet) (名) ①大臣官房。②内閣。③事務室。
- កាបិះ [ka:bo:p] (名) =កបិះ。財布。鞄。バッグ。書類鞄。 កាបិះ・ករូបិ・នឹង・ទានា バッグが扉にはさまる。 បុំ・កាបិះ・បាតិ 財布を落としてなくす。
- ※កាបិះ・កាតិ 身分証明書入れ。
- ※កាបិះ・ប្រាកិ 財布。
- ※កាបិះ・យ្យុរ 手さげ鞄。ハンドバッグ。
- ※កាបិះ・លូយ 財布。 បុំ・បុំ・កាបិះ・លូយ 財布をどこかに落としてなくした。
- ※កាបិះ・ស្រួល 救急箱。
- ※កាបិះ・ស្រួល・ត្រូវឱ្យនា 書類鞄。
- ※កន្លែ・កាបិះ ①小さい書類鞄。②財布。ハンドバッグ。
- កាបិះភាស [ka:po:ral] (f. caporal) (名) ①現場監督。見張り役。②(親分の下の)小親分。
- ※កាបិះភាស・កំណត់ 現場監督。
- ការិបាល [ka:bāon] (f. carbone) =ការិបាល。  
(名) 炭素。カーボン。
- ការិបាលូ・ការិបាល カーボン紙。
- ការិបុំ [ka:paw] (t. ករិបុំ: krapāw, kapāw) =ការិបុំ。 (名) =កបិះបុំ。 ①ポケット。②ハンドバッグ。財布。
- ※ការិបុំ・កបិះបុំ 財布。
- កាតិ [ka:pī] (t. កាតិ: ka:pī) =កាតិ。 (名)  
(塩漬けにして発酵させた小エビのペースト)。
- ※កាតិ・បាក (酸っぱいものを混ぜて味をつけたកាតិ)。
- ※កាតិ・ធម៉ា (t. កាតិធម៉ា: kapī p̄:aw)。  
(エビ、魚の燻製、トウガラシ、その他の調味料を混せて炒めて作ったペースト) (←バッタシパン地方で作る)。
- កាតិវិតេស [ka:pītaen] (f. capitaine) (名) 船長。
- កាតិ [ka:p] (s. kāvya) (名) 詩。韻文。
- ※កាតិ・ឈ្មាន់ =កាតិ・កាតិ・ឈ្មាន់。 韵文。詩。
- ※កាតិ・និទាន់ 叙事詩。

※ <u>କାମ୍ୟ</u> ・ <u>ଗ୍ୟ</u> 散文詩。	kilesa) (名) 欲情。性欲。
※ <u>କାମ୍ୟ</u> ・ <u>ଶିର୍ଷ</u> ・ <u>ଗ୍</u> <u>ଶିର୍ଷ</u> ・ <u>ଗ୍</u> を使った詩。	କାମକୁଳ [ka·ma'kun, ka'mkun] (ps. kāma + guṇa) (名) ①肉欲。性欲。②官能。③五欲 (=ରତ୍ନ '色', ସୁରଜ୍ଞନ '声', ରଙ୍ଗ '香', ରସ '味', ସମସ୍ତିନ୍ଦ୍ରିୟ '触'の5つ)。
※ <u>କାମ୍ୟ</u> ・ <u>କାମ୍ୟ</u> 詩を作る。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
※ <u>କାମ୍ୟ</u> ・ <u>କାମ୍ୟ</u> 韻文。詩。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ୍ୟ</u> ①韻をふんでいる語。②作詩法。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ୍ୟ</u> 詩にする。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ୍ୟ</u> 詩作りに夢中になる。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
କାମ୍ୟମତ୍ତ [ka·p'yē'a'mat] (s. kāvya+matta)	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
(名) 愛詩家。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に溺れる。淫乱な。
କାମ୍ୟମଦ [ka·p'yē'a'mat] (s. kāvya+mada)	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
(名) 狂的に詩を愛する人。作詩狂。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
କାମ୍ୟସାହୁ [କାମ୍ୟସାହୁ] (s. kāvya+sāstra)	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
(名) 詩学。作詩法。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
କାମ [ka:m] (ps. kāma) (名) 肉体的欲望。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
肉欲。性欲。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>ପରାମାର୍ଥ</u> → <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> 。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> → <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> 。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ</u> 色気違い。肉欲に溺れている。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ</u> 性感。性的喜び。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ</u> 精液。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 性交する。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 情欲の火。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ</u> 性欲を貪る。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 色好みの。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 肉欲に溺れる。色香に迷う。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 性交する。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> ・ <u>କାମ</u> 情欲を断ち切った。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 肉欲に夢中になる／溺れる。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 情欲という罠。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
※ <u>କାମକର୍ମିକୁଳ</u> ・ <u>କାମ</u> 愛欲の淵／罠。	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
କାମକର୍ମିଲେଖ [ka·ma'ke'lē:h] (p. kāma +	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。
କାମକର୍ମିଲେଖ	କାମକର୍ମିକୁଳ [ka·ma'karmi'kun] (ps. kāma + karma) (名) 性欲に満足すること。②貪欲蓋 (→କାମକର୍ମିକୁଳ '蓋。心が善に達するのを妨 げるもの')。

- (名) 欲界 (=三界「=欲界, 色 {しき} 界, 無色界」の中の 1. 五欲を有するものの界で, 娑<sub>タ</sub>「地獄」, 饑<sub>タ</sub>「餓鬼」, 喜<sub>タ</sub>「阿修羅」, 生<sub>タ</sub>「畜生」の 4 善<sub>タ</sub>と四惡趣=惡<sub>タ</sub>と「四惡趣=惡<sub>タ</sub>」と, 人<sub>タ</sub>「人界」と, 天<sub>タ</sub>「天界」と, 利<sub>タ</sub>「忉利天」, 摩<sub>タ</sub>「夜摩天」, 懷<sub>タ</sub>「兜率天」, 樂<sub>タ</sub>「化樂天」, 他<sub>タ</sub>「他化自在天」の 6 天<sub>タ</sub>と六天=天<sub>タ</sub>の計 11 からなる)。
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>] (ps. kāma + bhogin<bhogin). (カマ<sub>タ</sub>の女性形).
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>p<sup>o</sup>k<sup>i</sup>nī] (p. kāma + bhogī<bhogin+saiyā) (名) 性交する人が寝る姿勢 (=左を下にする).
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>p<sup>o</sup>ki<sup>?</sup>] (ps. kāma + bhogī<bhogin) (名) 性交する人.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>mucc'a:] (p. kāma + mucchā) (名) ①色欲. 性欲. ②淫亂.
- \*カマ<sub>タ</sub> 官能的/扇情的な.
- \*カマ<sub>タ</sub> 性交する. 色欲に耽ける.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>me't'on] (p. kāma + methuna) (名) 性交.
- \*カマ<sub>タ</sub> 性交する.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>yoga:, -ma<sup>?</sup>-] (ps. kāma + yoga) (名) 性交.
- \*カマ<sub>タ</sub> 性交する.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>rati] (ps. kāma + rati) (名) 官能的なよろこび. 性的快感.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>rāga, -ma<sup>?</sup>-] (ps. kāma + rāga) (名) 性的喜びを得ること. 肉欲にふけること.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>ri'əki'ənu'sai] (p. kāma+rāga+anusaya, s. anusaya) (名) 性欲.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'mri'əki:, -ma<sup>?</sup>-] (ps. kāma + rāgi<rāgin) (名) 肉欲/性的喜びを欲する人. (形) 官能的な.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>rō:k] (ps. kāma + roga) (名) 性病.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>vitakka<sup>?</sup>] (p. kāma + vitakka) (名) 淫欲を思うこと.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>vī'yoga:] (p. kāma + viyoga) (名) 五欲を去ること.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>sajva'rā:] (ps. kāma + samvara) (名) 欲望を抑えること. 禁欲.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>sāstra] (s. kāma + sāstra) (名) 好色文学.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>se'ne'ha<sup>?</sup>] (p. kāma + sineha) (名) = カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>sukha]. 肉欲への愛. 肉欲に耽ける気持.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>sok] (ps. kāma + sukha) (名) 官能的幸せ. 肉欲から生じる幸福. 肉欲に対する満足.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>sukha'allika'anuyoga] (p. kāma + sukha+allika+anuyoga) (名) しばしば肉欲に満足すること. 淫欲に耽ること.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>se'vāna:] (p. kāma + sevanā) (名) 性交.
- カマ<sub>タ</sub> [ka'ma<sup>?</sup>sajyojana] (s. kāma + saṃyojana) (名) 五欲から生じる障害.

## 五欲の縛め。

កាមស្រប [ka'ma'sne:ha:] (s. kāma + snehā). = កាមស្រីបេហ៍.

କାମାତିନ୍ଦ୍ରିୟ [ka·ma·ti·nòp] (ps. kāma + ādīnava)  
= କାମାତିନ୍ଦ୍ରିୟ: (名) 肉欲による害.

ກາມທີ່ໃນ? : [ka'ma'ti:nèə'vèə?] = ກາມທີ່ໃນຕ.

କାମାତିନ୍ଦିନା କଥା [ka·ma·ti·n̄d̄i·na·v̄e·a·ka·t̄·a:] (ps.  
kāma + ādīnava + kathā) (名) 欲情の罪に関する

る話 (→ カマラム).  
カマラム [ka·ma·rəm] (p. kāma +  
ārammaṇa) (名) 所縁に対する欲望 (→  
カマラム 「所縁=認識の対象」).

カマヴァカラ [ka·ma·və̥a·cə:] (ps. kāma + avacara) (名) ①カマヴァカラ「欲界」を輪廻する/さまよい歩く靈魂。②=

କାମାଚାରଚିତ୍ତ ।  
kāma + avacara + citta) (名) 欲界に生れるものための魂 (→ ତୃତୀୟାଳ୍ପିତ୍ତ ବିଦ୍ୟାଧିକାରୀ) 「三界に生れるもののための魂」。

କାମାଚରଭୂମି [ka'ma'v̑cə'ra'p̑u:m] (ps.  
 kāma + avacara + bhūmi) (名) = କାମାଚର。  
 欲界の天界六天 (= ଭାତିଭାଗାଧିକା 「四天王  
 天」, କ୍ରିୟକ୍ରିଷ୍ଣ 「切利天」, ଯାମ :「夜摩  
 天」, କୁମାର 「兜率天」, ଶନିରାତି 「化樂  
 天」, ହରିମୁକୁସୁରାତି 「他化自在天」の六天。  
 → ଦେଖିବାପାଇଁ ଏହାକୁ ବିଶ୍ଵାରାମି 「色界」)。

କାମାଵାକାରସ୍ଵର୍ଗ [ka'ma've<sup>ä</sup>a'ra'su'g<sup>ä</sup>a] (s.)  
kāma + avacara + svarga) (名) 欲界六天 (→  
ଶତାବ୍ଦୀ 「欲界」)。

កាំមាំសាំវាំ: [ka'ma'sa'va'] (p. kāma + āsaya)

(名) 欲望に溺れること (→*まごころ*): 「煩

「惱」）。

កាមិញ្ញវ [ka'mi<sup>2</sup>nou] = កាមុន.

カモウ [ka'moŋ] (cf. モンクメール祖語のka  
 「魚」) (名) = グル・カマ. (魚) グルクマ,  
 Scomber brachysoma (H.).

କାମ୍ପା [ka'mucc'a:] (p. kāma+ucchā<ucchādeti) (名)好色, 猥亵。

କାମୁପାତିଏ [ka·mu·pa·ti·ən] (p. kāma +  
upādāna) (名) 欲望に執着すること。

カママタカ: [ka·mommatta'ka?] (p. kāma + ummattaka) (名) 欲望による狂気。狂気のように欲望を求ること。色情狂。

(名) しきりに欲望を求めるここと。

କାମୋଘା : [ka'mò'k'ø̃ga] (p. kāma + ogha)  
(名) ①欲望の洪水(に押し流される). 欲  
の淵(に溺れる). ②情欲(→ଖୁବ୍ରାହିମାନା).

កាម៉ង់ [kampong] (工) (f. camion) =  
កាម៉ែង. → រច. កាម៉ង់.

かゑ [ka:i] (動) (鳥が爪で、熊手で、水を手で) 搾く。引っ搔く。(名)(ps. kāya). ①身体。②身(→ みの みの みの 「内に入り、  
六根」). ③身(= 32 の おの 「髪、毛、  
爪、歯、皮、肉、腱、骨、髓、脾臓、心臓、肝臓、筋膜、肺臓、大腸、小腸、新しく食べたもの。古くに食べたもの。痰、脳、膿、血、汗、垢、涙、脂肪、唾、鼻汁、関節脂、尿、胆嚢、脊髄」の集合体)。

\* ດາວ. ດັບ. ເປັນ. ດັບ ດີເລ ເພື່ອ ດີເລ ດີເລ

- ※କର୍ମାନ୍ତି·କାଯ �体力。筋力。(知力に対して)  
肉体の力。
- ※କଟିବି·କାଯ すくい／掃き寄せる。すくって  
入れる。
- ※ଶ୍ଵର·କାଯ 皮膚呼吸。
- ※ପୂର୍ଣ୍ଣାତ·କାଯ·ଲାଗ୍ୟ·ପିତ୍ତ =ପୂର୍ଣ୍ଣାତ·ଶ୍ଵର  
ଲାଗ୍ୟ·ପିତ୍ତ =ଶ୍ଵର·ଶ୍ଵର·ଲାଗ୍ୟ·ପିତ୍ତ =  
ଶ୍ଵର·ଶ୍ଵର·ଲାଗ୍ୟ·ପିତ୍ତ。去るものは日々に  
うとし。
- ※ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯ 身体の汚れをとる(→ସମାଧାନ·  
କାଯ)。
- ※ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯ =ପରିଚ୍ଛଳା·ଶ୍ଵର。身支度する(←衣  
服を着てお化粧をする)。(ପରିଚ୍ଛଳା·ଶ୍ଵରを多  
用)。
- ※ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯ·ରମ୍ଭ·ରମ୍ଭ 他人に不快感を与える  
い／ふさわしい服装をする。
- ※ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯ →କାର·ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯ 整体する。
- ※ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯ 横になる。寝る。
- ※କାର୍ଯ୍ୟ·କାଯ·କାର୍ଯ୍ୟ·ପିତ୍ତ 身も心も。
- ※ପରିଚାଳନ·କାଯ 謙遜する。
- ※ପରିଚାଳନ·କାଯ →ପରିଚାଳନ·କାଯ 身  
についた職業的学問／技術／知識。
- ※ପରିଦ୍ୱାରା·କାଯ →ପରିଦ୍ୱାରା·ଶ୍ଵର·କାଯ·କାଯ 肉体  
的に疲労する。
- ※କାର୍ଯ୍ୟ·କାଯ (cf. t. *rāgaṇāy*: rā:ŋ̥ ka:i).  
①身体。②姿。身体の形。
- ※କାର୍ଯ୍ୟ·କାଯ ①(個人の)身体。肉体。②体つ  
き。③自身。
- ※କାର୍ଯ୍ୟ·କାର୍ଯ୍ୟ ①彼女の体。②彼女自身。
- ※କାର୍ଯ୍ୟ·କାର୍ଯ୍ୟ ①体格。②身体。
- ※ପରିଚାଳନ·କାଯ 身をかがめる(=お辞儀す  
る)。
- ※ପରିଦ୍ୱାରା·କାଯ 身をかがめる(=お辞儀する)。
- ※ପରିଦ୍ୱାରା·କାର୍ଯ୍ୟ 身体上の不自由／不都合  
(←互いに離れて暮らしている。事故などで身  
体の自由がない。など)。
- ※ପରିମାତ୍ର·କାଯ 身体を休める。
- ※ପରିମାତ୍ର·କାଯ 休息する。疲れをとる。
- ※ପରିମାତ୍ର·କାଯ 健康だ。身体の調子がいい。
- ※ପରିମାତ୍ର·କାଯ 最後の仕上げの化粧をする  
(cf. ପରିଚ୍ଛଳା·କାଯはすべての作業を含む)。
- ※ପରିମାତ୍ର·କାଯ 身体。
- ※ପରିମାତ୍ର·କାଯ 体育。
- କାଯକମ୍ମ [ka·ya'kam] (p. kāya + kamma)  
(名) 身業(→କାଯକମ୍ମ 「業道。人間が身体と  
口と心で行う行い」)。
- କାଯକମ୍ମାସତି [ka·ya'kam̄a'sa'ta'sa'te'] (p. kāya  
+ gatā + sati) (名) 身体で感じること。身体  
に意識を集中すること。
- କାଯକମ୍ମାଗନ୍ଥା [ka·ya'kam̄a'gantha] (p. kāya + gantha)  
(名) (欲界内の輪廻からの解脱を妨げる煩惱  
のうち肉体に関するもの)(←欲張り、悪意を  
持つこと、形式にのみとらわれた善行、教条主  
義であること、の4つがある)。
- କାଯକୁତ୍ତରାତ [ka·ya'ku'ttacca'rāt] (p. kāya + du +  
carita) (名) 身体で行った悪い行い。
- କାଯଦ୍ଵାରା [ka·ya'dvāra] (ps. kāya + dvāra)  
(名) 身門(→କାର୍ଯ୍ୟଦ୍ଵାରା 「三門。善惡をなす基  
となる三つの物」)。
- କାଯପରିହାର [ka·ya'pa're'ha:] (ps. kāya +  
parihāra) (名) 体育。
- କାଯପରିପାତ [ka·yappa'sa:t] (p. kāya +

पासादा) (名) ①神経。②ニューロン。	काया॒व॑प्पा॒कम् [ka·ya²vappa²kam] (p. kāya + vappa+kamma) (名) 体育。
※ कासा॒का॒ काया॒प्रा॒सा॒त् 神経細胞。ニューロン。	काया॒वि॑कला॒ [ka·vi²kola, ka·ya²-] (ps. kāya + vikala) (名) ①身体的不具。(形) 身体が不具の。②四肢を切断された。
काया॒प्रा॒सा॒त् [ka·ya²prāsa:t] (s. kāya + prasāda) (名) 運動神経 (→ प्रा॒सा॒त् वा॒पि॑भि॒ष्टा॒ भिष्टा॒ 「感覚神経」)。	काया॒वि॑कला॒कम् [ka·vi²kala²kam, ka·ya²-] (p. kāya + vikala+kamma) (名) 手足を切断／損傷すること。不具にすること。
काया॒बंधा॒ [ka·ya²p=ಂಧ] (ps. kāya + bandhana) = काया॒बंधः॒ (名) 僧の腰帶 (→ अ॒ध॒व॒र॒क॒र॒ अ॒ध॒व॒र॒क॒र॒ 「八物。僧が私有を許されている8種の物」)。	काया॒वि॑कार॒ [ka·vi²ka:, ka·ya²-] (ps. kāya + vikāra) (名) 行動。振舞い。動作。身振り。ポーズ。 काया॒वि॑कार॒ अ॒ध॒व॒र॒क॒र॒ अ॒ध॒व॒र॒क॒र॒ [वि॒ग्ना॒प॒] 憶ましいポーズ。
काया॒प्रा॒णः॒ [ka·ya²prāṇeः॒] = काया॒प्रा॒णः॒।	※ अ॒प॒र॒ज॒न॒. काया॒वि॑कार॒ (歌劇のように踊りながら歌う歌)。
काया॒बला॒ [ka·ya²p=ಂಲ] (ps. kāya + bala) (名) 体力。	※ अ॒प॒र॒ज॒न॒. काया॒वि॑कार॒ ①動作をする。②演技をする。
काया॒मु॒त्रि॒ ए॒या॒ [ka·ya²muttri¹e] (s. kāya + mudrā) (名) 手足の動き。ポーズ。	काया॒वि॑न॒न॒टि॒ [ka·ya²viññāt] (p. kāya + viññatti) (名) ①身体による表現。ジェスチャー。②行動。振る舞い。
काया॒मो॒न॒य॒या॒ [ka·ya²mō·neiyē] (p. kāya + moneyya) (名) 身体で悪事を行わないこと。	काया॒वि॑न॒न॒षा॒ण॒ [ka·ya²viññāṇ] (p. kāya + viññāṇa) (名) ①触感。触覚。②身識 (→ वि॒न॒न॒षा॒ण॒ क॒र॒क॒म॒ण॒ 「識」)。
काया॒रु॒ति॒ [ka·ya²ruṭ] (s. kāya + ruddhi) (名) ボーイスカウト。	काया॒वि॑प॒ला॒सा॒ [ka·ya²vi·palla:h] (p. kāya + vipallāsa) (名) 身体障害。
※ अ॒प॒र॒ज॒न॒. का॒र॒. काया॒रु॒ति॒ ボーイスカウト連盟。	काया॒वि॑प॒र॒ि॒ ए॒या॒ [ka·ya²vi·p̄i·e] (ps. kāya + vibhāga) (名) 解剖。 अ॒प॒र॒ज॒न॒. काया॒वि॑प॒र॒ि॒ ए॒या॒ 解剖する。
काया॒ल॒क्खा॒ण॒ [ka·ya²lakhaṇa] (p. kāya + lakkhaṇa) = काया॒ल॒क्खा॒ण॒ः॒ (名) 身体の調子／状態。体調。	काया॒वि॑ल॒क्षा॒ण॒ सा॒श॒ [ka·ya²vi·lakṣaṇa²śa:h] (s. kāya + vibhāga+sāstra) (名) 解剖学。
काया॒ल॒क्खा॒ण॒ः॒ [ka·ylakṣhaṇeः] = काया॒ल॒क्खा॒ण॒ः॒।	काया॒वि॑व॒ेका॒ [ka·ya²vi·vē:k] (p. kāya + viveka) (名) 身体を世俗から隔離すること。隠遁。
काया॒व॒दा॒ना॒ [ka·ya²vādānē] (p. kāya + vādanā) (名) 身体による挨拶／敬礼。	काया॒स॒ञ्जा॒क॒ [ka·ya²sañjaka:] (p. kāya + sañjaka) (名) 。

sañkhāra) (名) ①身体の基体。②身体の構成。

③吸気と吐気。

कायसमाचारा [ka·ya·sa·ma·ca:] (p. kāya +

samācāra) (名) 礼儀正しい行動 (→ समाचारा)。

कायसम्पदा [ka·ya·sampa·ti·a] (p. kāya + sampadā) (名) 身体の(健康)状態。

\*कायासंपत्ति॒ कायसम्पदा॑ 健康診断書／  
証明書。

कायसम्पहा॒ [ka·ya·samp'ah, -səmp'ah] (p. kāya + samphassa) (名) ①身体の接触。②触覚 (→ सम्पहा॒)。

कायसम्माचारा॒ [ka·ya·samma·ca:] (p. kāya + sammā + ācāra) (名) 良い行い／行動。

कायसीक्षा॒ [ka·ya·səkk'sa:] (s. kāya + śikṣā) (名) 体育。

\*सीक्षा॒ कायसीक्षा॒ 体育の訓練をする。

कायसुक्षा॒ [ka·ya·sukha] (ps. kāya + sukha) (名) 身体の幸せ／健康。

कायसुचिरति॒ [ka·ya·so·ca·rati] (p. kāya + su + carita) (名) 身体で行う正しい行い／善行 (→ सुचिरति॒, सुसुलग्नभ॒)。

कायासोय्या॒ [ka·ya·saocaiyya:] (p. kāya + soceyya) (名) 身体で悪事を行なわないこと。

कायानुपासना॒ [ka·ya·nu·passa·na:] (p. kāya + anupassanā) (名) (肉体というものは永久なものではないことを知ること)。観身不淨 (= 37道品の1. 四念處の1)。

कायायतना॒ [ka·ya·ya·ta·na?] (ps. kāya + āyatana) (名) ①触覚器官。②身 (→

आयतनः॒ ऋ॒ ग्र॒ 「内処入。六根」)。

कायिकादुक्खा॒ [ka·yi·ka·tuk] (p. kāyika + dukkha) (名) 身体の苦痛。

कायिकासुखा॒ [ka·yi·ka·sok] (ps. kāyika + sukha) (名) 身体の幸せ／健康。

कायुद्धि॒ [ka·ya·ruddhi] (s. kāya + ruddhi) (名) 身体の力。

कारा॒ [ka:] ① (ps. kāra) (名) ①用。用事。仕事。②(～する)こと。③役(に立つ)。④利息。(動) ①(ok. kar, kār). = कारा॒ कारा॒ ②結婚させる。③結婚する。④よこくだ(緯管)(= 棱の中に入れる管)に糸を巻く。 कारा॒ शिवा॒ शिवा॒ 私がきらりていること。 कारा॒ मीमा॒ 易しい／簡単なこと。 कारा॒ ब्रह्मिका॒ का॒ शि॒ ! そんなこと朝飯前だ。 कारा॒ कारा॒ रिता॒ トラがその餌食(の残り)を守る。 ब्रह्मा॒ शिवा॒ कारा॒ काया॒ रिता॒ 後で結婚した(=新しい)妻。

\*कारा॒ कंपिता॒ कंपिता॒ 些細なこと。(→見出し語 कंपिता॒ कंपिता॒ の中)。

\*कारा॒ शि॒ ①正邪。②責任。 शि॒ ला॒ कारा॒ शि॒ 責任を負う。 शि॒ ला॒ शि॒ 物事の善惡がわかる。

\*कारा॒ शि॒ शि॒ 損害。被害。 कारा॒ शि॒ शि॒ 被害が広がる。 शि॒ भ॒ ला॒ कारा॒ शि॒ शि॒ 被害の程度。

\*कारा॒ शि॒ = कारा॒ रिता॒ य。やりかけの仕事。

\*कारा॒ रिता॒ 他人のこと。自分に関係のないこと。 प्रेत॒ दीत॒ कारा॒ रिता॒ = प्रेत॒ दीत॒ रिता॒ रिता॒ 自分に関係のないことを知りたがる。

- \*ការ.ឃ្លាំង 財政.
- \*ការ.នាយា ①職業. 仕事. 任務. 職務. ②事業. វិទ្យាការ.ការ.នាយា.ទំនើស 私の仕事の邪魔をする. ការ.នាយា.មាត្រានីម.ដែល.ជាបី 主婦業. ការ.នាយា.នីម.ខែ.ចំណុច.នៅ.ខែ この仕事は月に~リエルの収入になる.
- ប្រសិទ្ធភាព.ការ.នាយា.ទីផ្សារ/ចំណុច: 仕事の能率が上がる/下がる. ឈ្មោះ.ក្រុាល.នឹង.ការ.នាយា 仕事のことで頭が痛い. ឈ្មោះ.ទីផ្សារ.សុខ.នឹង.ការ.នាយា 仕事に見合った賃金. ផល.ទីតា.ការ.នាយា.របស់ក្នុង.ក្នុង 子の仕事の果実.
- ធនធាន.សុខភាព.ការ.នាយា 雇用契約.
- ធនសុខ.ការ.នាយា 労働省.
- ធនសុខ.សហគមនាក្រុម.នឹង.ការ.នាយា 社会福祉省.
- ធនធាន.ការ.នាយា 仕事を怠ける/サボる.
- ធនការ.ការ.នាយា 労働法.
- ធនបែក.ការ.នាយា 仕事に飽きる.
- ធនឈ្មោះ.ការ.នាយា 仕事の進行.
- ធនឈ្មោះ.ការ.នាយា 仕事を引き受けれる.
- ធនឈ្មោះ.ការ.នាយា 仕事をする. 作業する.
- ធនឈ្មោះ.ការ.នាយា 仕事を続ける.
- ធនឈ្មោះ.ការ.នាយា.ទំនើស 仕事の準備.
- ធនឈ្មោះ.បន្ទី.ការ.នាយា 職務を放棄する.
- ធនបាកប.ការ.នាយា~ ~の職業についている.
- ធនបៀវត្ស.ការ.នាយា 職歴.
- ធនភាព.ការ.នាយា 職を持っている.
- ធនភាព.ការ.នាយា 仕事を探す. 職探しをする.
- ធនភាព.ការ.និទ្ទេសាស្ត្រ.ខាង.ការ.នាយា 労働科学研究所.
- \*ការ.នាយា.កម្មវិធី.ឬយោ (知的な仕事でなく) 肉体労働.
- \*ការ.នាយា.កំបូក.កំបូក 雜用.
- \*ការ.នាយា.កម្ម.ដែល 家事.
- \*ការ.នាយា.នាស្រី 仕事がやりかけになっていてうまく進まない.
- \*ការ.នាយា.ទីផ្សារ.ពីរ 正業 ( $\rightarrow$  អងដិតិកម្មគីមិតិ) 「八正道」).
- \*ការ.នាយា.ទីផ្សារ する仕事.
- △ធនធាន.ការ.នាយា.ទីផ្សារ ①する仕事がない ( $\leftarrow$  瞳だ). ②失業している.
- \*ការ.នាយា.ប្រចាំ.ខែ 日課.
- \*ការ.នាយា.ដុកការ 公務.
- \*ការ.នាយា.សុខ 仕事がいきづまる.
- \*ការ.ចុះថ្ងៃ =ធនឈ្មោះ.ថ្ងៃថ្ងៃ. 交渉. 会談. 話し合い. ( $\rightarrow$  見出し語ថ្ងៃថ្ងៃの中).
- \*ការ.ចុះ.ខែ シーズン終りの農作業.
- \*ការ.មាត្រា.បន្ទាន់ 急用.
- \*ការ.ដឹងដល់.ចំណុច いつもいつも同じこと (の繰り返しで飽きた).
- \*ការ.ដុល្លារ 台所仕事.
- \*ការ.ទីផ្សារ.ខែ シーズン始めの農作業.
- \*ការ.ទីផ្សារ.មិន.អាជីវ =ការ.មិន.អាជីវ. 實行不可能なこと ( $\leftarrow$  契約の対象にならない).
- \*ការ.ទីផ្សារ.មិន ①それぞれの仕事. 私事. 私用. ②別件. 他のこと.
- \*ការ.ទិន្នន័យ 外交. 外務.
- ធនសុខ.ការ.ទិន្នន័យ 外務省.
- ធនភាព.ការ.ទិន្នន័យ 外交官. 使節.
- \*ការ.ធនធាន 普通/いつも/当り前のこと.
- \*ការ.ធនធាន.ទីផ្សារ.ទីផ្សារ 当り前の事だ. 聞

くまでもないことだ。

\*ការបានជីត = ការបានរាប់នឹងជីត。

\*ការបានរាប់នឹង 保険。 ចូលការបានរាប់នឹង 保険に加入する／入る。

\*ការបានរាប់នឹងជីត = ការបានជីតជីត = ការបានរាប់នឹងជីតជីត。生命保険。

\*ការបានរាប់នឹងសុខភាព 健康保険。

\*ការធ្វើ 大切なこと。

\*ការធ្វើ 職。仕事。

△ការធ្វើការ = ភត.ការធ្វើ。

△វគ្គការ 仕事を探す。職探しをする。

△ភត.ការធ្វើ = ការធ្វើ。①することがない。②無職／失業中だ。

\*ការទិញយាយត្រា → មានការទិញយាយត្រា 話し(=用事)がある。

\*ការទេស このこと／仕事／件。 មិនពាយការទេស この件に関して

は異議をとなえない。 ការទេសមានដុំ。

ការទេសអាមិន このことは何の大切さもない。

ទីស្តាំនឹងការទេស 私はこの仕事に慣れている。

\*ការបន្ទាន់ 緊急事。

\*ការបន្ទាប់បន្ទុំ どうでも良い仕事。雑用。

\*ការបរាជុប្បី 外務。

△ក្រសួងការបរាជុប្បី 外務省。

\*ការប្រជុំ 集会。会議。 បីកការប្រជុំ 会議を開く。 បីទីការប្រជុំ 閉会する。

កន្លែតពេលបច្ចាប់ការប្រជុំផលទី២。

ការប្រជុំ៦ 会議の終る時間を6時まで延ばす。

ការប្រជុំទី២នឹងការប្រជុំនៃសាធារណៈ 会議

が長引く。

△កម្មវិធីការប្រជុំ 議題。

△ការការប្រជុំ 会期。

\*ការប្រជុំទី២នឹងការប្រជុំ 会議が決裂する。

\*ការប្រជុំនមួយពីនាក់នាន់អស់ 株主総会。

\*ការប្រឆ្លាប់ 急ぎの用。急用。緊急事。

ការការប្រឆ្លាប់ 急ぎの用がある。

\*ការប្រចុចច.ពីច 緊急事。

\*ការប្រព័ន្ធបុរាណ 妻をめとる。 ការប្រព័ន្ធបុរាណមួយទី 妻をもうひとりめとる。

\*ការប្រសិរីលាសិ 大変結構な／素晴らしいこと。

\*ការប្រាក់ 利子。

△ក្រុមិតការប្រាក់ 利率。

ការតិកការប្រាក់ 利子を差し引く。

△ចិត្តការប្រាក់ 利子付きで借金する。

△ប្រការការប្រាក់ 利子をとる。

△ស្ថិកការប្រាក់ 利子をとる。

\*ការទិន្នន័យជី 国務。

\*ការជាលុយខ្លួន 自分の仕事。私用。 ការជាលុយខ្លួនខ្លួន。

ការជាលុយខ្លួន 自分の仕事をする。

\*ការជី 家事。

\*ការពារ = ការ。①守る。防ぐ。保護する。

②弁護する。 ជូនការពារដីមីកី。 ការពារ 護送する。

△ក្រុមិតការពារ 守るための物。防護品。

△ជីជកការពារ 弁護する。

△ទិញយាយការពារ 弁護する。

△ដំណានការពារ 予防策／対策。

△សម្រួលភាពរាយលក្ខនិនការពារ 攻守同盟。

※ការ·ការ·ត្រូវ·ច្បាប់ 正当防衛。

※ការ·ការ·ទឹក 水を防ぐ。防水の。

※ការ·ការ·ធម្មាតិ 自然を守る。

△ក្រសួង·ការ·ការ·ធម្មាតិ 環境庁。

※ការ·ការ·ប្រទេស 国を守る。

△ក្រសួង·ការ·ការ·ប្រទេស 国防省。

※ការ·ការ·មិន·ទី·យោបាយ·កុស 妊娠を防ぐ。産児制限をする。

※ការ·មិន·ពីរ 急ぎの仕事／用事。

※ការ·មិន·អាជី =ការ·ដែល·មិន·អាជី。

※ការ·មិន·ឈាម =ការ·ឈាម。

※ការ·រដ្ឋ 国務。

※ការ·រដ្ឋាភិបាល →ទី·ស្តី·ការ·រដ្ឋាភិបាល  
總理府。

※ការ·តិប·រតិប スムースに運ばない仕事。

※ការ·របៀប·រាយ こまごまとしたつまらない仕事。雑用。

※ការ·រំលែក 仕事。用事。

※ការ·រាជការ 公務。

△តិច·ការ·រាជការ 公務員をする。

※ការ·រាប·រន្ត·ជីត =ការ·ជានា·រាប·រន្ត。  
ជីត。

※ការ·រាប·រាប つまらぬ仕事。

※ការ·សំណាយ ①雑用。②毎日決まって行う  
つまらぬ仕事。

※ការ·សូច្ច ひ(梭)の中に入れる管に糸を巻く。

※ការ·សំខាន់ ①重要な事。②重要な用事。

※ការ·ស្រាវ·ឃ 軽作業。

※ការ·ហាត់កម្ម 手作業。

※ការ·ហាស·របីយ៉ែ もう済んだことだ。

※ការ·អស់ជាអ្នក: 私事。私用。プライベートな用事。

※ការ·អ៊ី (話) =ការ·អ៊ី。

※ការ·អ៊ី =ការ·អ៊ី (話). 何。何か。何事か。  
យោបាយ·ការ·អ៊ី 何の用ですか。 ទី·ការ·អ៊ី  
何の仕事をしているか。 នាម·បាន·ការ·អ៊ី  
ទាក់ទង (努力したが) 全く無駄だった。

△ជាបី·ការ·អ៊ី? 何の役に立つ?. つまらない。

※ការ·កាបី·ការ 仕事の責任者／長になる。

※ការ·កាបី 請け負う。仕事の責任をもつ／責

任者になる。(物事を)処理する。

※វគ្គ·ការ ①職務。職業。仕事。②ビジネス。  
事業。③宿題。④取り引き契約。(夫の許可な  
して行った)こと。(វគ្គ·ការ+へは見出し語  
វគ្គの中を見よ)。

※វគ្គ·ការ 邪魔が入って仕事がうまく行かぬ/  
進まぬ。

※គិត·ការ ①うまくいく。成功する。②役に  
立つ。

※វត្ថុ·ការ (計画が) 駄目になる。失敗する。

※វត្ថុ·ការ (仕事／計画が) 失敗する。(物事  
／計画を) 台無しにする。

※គម្រោង·ការ 計画。構想。プロジェクト。

※គម្រោង·ការ·ថ្លែក 予算案。

※គិត·ការ 事柄を検討する。

※តាម·ការ 方針。目的。計画。計略。  
(តាម·ការと混同されることが多い)。

※គាយ·ការ·ទី (わずかなことだから) 問題  
にならない。心配すること／問題はない。

※ចុបី·ការ ④結婚適齢期に達した。年頃の。

- ⑧→カバ・ル・カバ・ル ①あらゆる種類。  
全て。②(全てのことが書いてあって)詳しい。
- \*スケジュール ①計画する。②予定する。
- \*ローン 利息付きで金を貸し借りする。  
(ローン・カス+～は見出し語カスの中を見よ)。
- \*マネジメント ①(いろいろ)指図する。マネージする。②経営/運営/管理する。管理運営にあたる。③けり/始末をつける。処理/処置する。
- \*リーン・カス = リース・リーン・カス。利息。
- \*オーバー・カス 腕利きの。
- \*オーバル・カス 仕事の責任を全うしない。仕事をほったらかしにする/ほうり出す。
- \*オーバー・カス (用が起こるのに備えて)待機する。当直をする。
- \*オーバー・カル →オーバーリスク・カル 信用すべき筋(からのニュース)。
- \*オーバー・カル・カル 本気になって。真面目に。せっせと勤勉に。
- \*オーバー・カル 仕事がある(ので～できない)。
- \*オーバー・カル 事柄の状況。知らせ。ニュース。消息。
- \*オーバーマン・カス 熟練した。専門/エキスパート/ペテランの。
- \*オーバル・カス (法律)雇用の報酬。
- \*オーバー・カル・カル 仕事を与える/割り当てる。
- \*オーバー・カル 事情を知っている。
- \*オーバー・カル ①発案。②発案者。③(儀式など)の)主催者。
- \*オーバー・カル ごまかして/嘘を言って言い抜け
- る。
- \*オーバーカット・カス 経過。
- \*オーバーレイ・カス ①仕事の進行状況。成り行き。(手術/会議の)経過。②運営。経営。③手順。④事情。
- \*オーバーロード・カス 金利。
- \*オーバーリクエスト・カス 必要だ。必要とする。
- \*オーバー・カル →オーバーリスク・カル 第一等の省(=他の省の上の格の省)。
- \*オーバー・カル ~ ~が必要だ/欲しい。~する必要がある。
- \*オーバー・カル・カル ~ ～したい(←やや婉曲)。
- \*オーバー・カル 監督/管理する。
- \*オーバー・カル →オーバーリスク・カル ①技術を実地に行う人。②請け負った人。
- \*オーバー・カル 事柄の軽重を検討する。
- \*オーバー・カル 仕事の謝礼金。
- \*オーバー・カル 仕事が頓座する。不注意で失敗する。やりそこなう。
- \*オーバーホール・カス 仕事を引き受ける/請け負う。
- \*オーバーホール・カス 結婚パーティーに出る。
- \*オーバーマリッジ・カス ①形式。順序。手続き。処理の手順/プロセス。②結婚式の行い方。
- \*オーバーマリッジ・カル・カル・カル  
(カル・カル王の定めた結婚式の行い方)。
- \*オーバー・カル →オーバーリスク・カル・カル ①せつについて間に合わせる。②急いで間に合わせる。
- \*オーバーナイト・カス →オーバーナイト・カル・カル・カル 元も子も(失う)。
- \*オーバーペン・カス しくじる。
- \*オーバーワーク・カス 働く。勤める。(ワーカー・カス+～は見

- 出し語の中を見よ)。
- ※セイム・カス 現場監督。
- ※セイム・カス 用談する。
- ※セイム・カス 事を運ぶ。
- ※セイム・カス 事をぶち壊しにする。
- ※セイム・カス →セイム・ダツ・ハツク・カス =  
セイム・ダツ。①(娘が成女に達した時、一定期間戸外に出ず暗い室内で過ごすこと)。②=セイム・ダツ・ダツ。(セイム・ダツを行う儀式)。
- ※セイム・カス 仕事を終らせる。
- ※セイム・カス →セイム・カス・セイム・ハツク・カス  
怠業戦術。
- ※セイム・カス ①命令／指揮する。②命令者。司令官。指揮官。③命令(←軍隊関係で使用)。
- △セイム・ダツ・カス →セイム・ダツ・カス。
- ※セイム・カス →セイム・ダツ・カス 明細記録簿。
- ※セイム・カス 仕事を急ぐ。
- ※セイム・カス 仕事に飽きる。
- ※セイム・カス 予備にする。
- ※セイム・カス ①役に立つ。効果がある。②うまくいく。成功する。③(法律／規則が)有効である。(訴訟)能力がある。
- ※セイム・カス・セイム・ダツ (訴訟)能力のある。
- ※セイム・カス・ダツ 役に立つ。
- ※セイム・カス 秘密が露見する。
- ※セイム・カス →セイム・ダツ・セイム・カス 報酬(←支払う必要がある)。
- ※セイム・カス 利息付きの。
- ※セイム・カス ①待機する。当直をする。②現役
- の(兵)。常任の。
- ※セイム・カス 仕事の量や経費を見積る／概算する。
- ※セイム・カス 利息。
- ※セイム・カス 待機する。
- ※セイム・カス 利用する。役立てる。
- ※セイム・カス・セイム 使える。
- ※セイム・カス・セイム 使える。有効である。
- ※セイム・カス・カス 利用する。
- ※セイム・カス 計画。プラン。
- ※セイム・カス・セイム・ダツ 年度計画。
- ※セイム・カス 準備する。
- ※セイム・カス 仕事を統合する。
- ※セイム・カス 専制的な。絶対的(君主。権力)。独裁的(政治)。
- ※セイム・カス 公式／正式の。
- ※セイム・カス =セイム・カス・セイム。相談を受ける。
- ※セイム・カス ①公式の(場所。訪問)。②儀式。儀礼。
- ※セイム・カス・セイム・ダツ 年中行事。
- ※セイム・カス 結婚パーティーに出席する。
- ※セイム・カス ①大人になった。仕事／結婚ができる年齢に達した。②有効な。
- ※セイム・カス 計画を立てる。
- ※セイム・カス ①結婚式。②結婚。
- ※セイム・カス ①用がある。②忙しい。(カス・カス+～は見出し語カスの中を見よ)。
- ※セイム・カス 職業。職務。業務。役割。任務。
- ※セイム・カス・カスカス 公務員の職。
- ※セイム・カス ①(ある仕事の長)。職長。②王宮

